

堺市の経営ビジョンと財政状況



平成22年11月22日、ユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載された百舌鳥古墳群

第12回市場公募地方債
発行団体合同IR説明会
平成25年10月28日
都市センターホテル

投資家の皆様におかれましては、平素から堺市政の各般にわたり温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

去る、9月29日に執行されました堺市長選挙におきまして、市民の皆様から幅広い支持をいただき、引き続き市政を担うこととなりました。

私は市長就任以来、全国トップレベルの子ども医療費助成をはじめ、子育て・教育環境の充実と健康・医療体制の強化を図ってまいりましたが、最近では、「実際に住んでみて良かったまち」「子育てしやすいまち」「老後住みやすいと思うまち」として雑誌等でとりあげられるなど、これまでの取組の成果が徐々に表れてきております。次の4年も引き続き、住民に近い「優しい基礎自治体」をさらに発展させるため、つばみとなった施策を実行していき、大きな花を咲かせたいと思っております。

堺発展のための「まちづくり」につきましては、堺の地域資源を活かした取組を進めており、中でも千利休・与謝野晶子・仁徳天皇陵古墳を中心とした「歴史文化を活かした都市魅力の発信」や、都心地域の賑わいと憩いの空間となる市民交流広場の整備などを進め、まちの魅力と賑わいづくりに努めています。また、12月公開予定の映画「利休にたずねよ」との連携事業などシティ・プロモーション活動にも積極的に取り組み、観光誘客や堺の魅力を発信しております。

今後も常に改革マインドを持ち続けながら「市民目線」と「現場主義」を貫き、政令指定都市としての権限と財源の活用と徹底した行財政改革を進めるとともに、本市のまちづくりの指針である堺市マスタープランに掲げた『3つの挑戦』（「子育てのまち・堺」「歴史文化のまち・堺」「匠の技が生きるまち・堺」）と「市民が安心・元気なまち・堺」に重点的に投資して、子どもからお年寄りまで、誰もが住み続けたいと感じていただけるまちづくりに努めてまいります。

どうか皆様には、これからも堺の更なる飛躍と発展のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



堺市長 竹山修身

【プロフィール】

昭和50年4月	大阪府庁就職
平成14年4月	行政改革室長
平成17年4月	府議会事務局長
平成20年4月	商工労働部長
平成21年4月	政策企画部長
平成21年10月	堺市長就任
平成25年10月	堺市長（2期目）

目次



I. 堺市のプロフィール	… 4
II. 堺市の市政運営について	… 8
III. 堺市の財政状況について	… 22
IV. 堺市債について	… 40

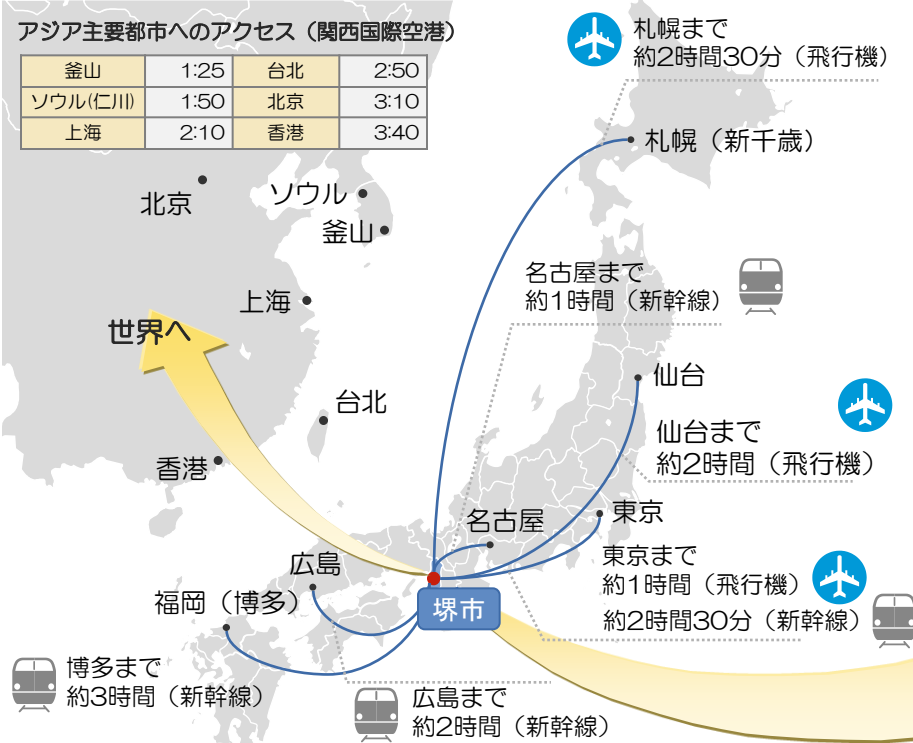
I. 堺市のプロフィール①



- ◆ 関西圏2,000万人の巨大消費地のほぼ中心に位置する本市は、海外・国内主要地域へのアクセス性が極めて高い
陸・海・空の交通ネットワークを有する
- ◆ 平成28年度に完成予定の阪神高速道路大和川線の開通により、利便性はますます高まる見込み

アジア主要都市へのアクセス（関西国際空港）

釜山	1:25	台北	2:50
ソウル(仁川)	1:50	北京	3:10
上海	2:10	香港	3:40

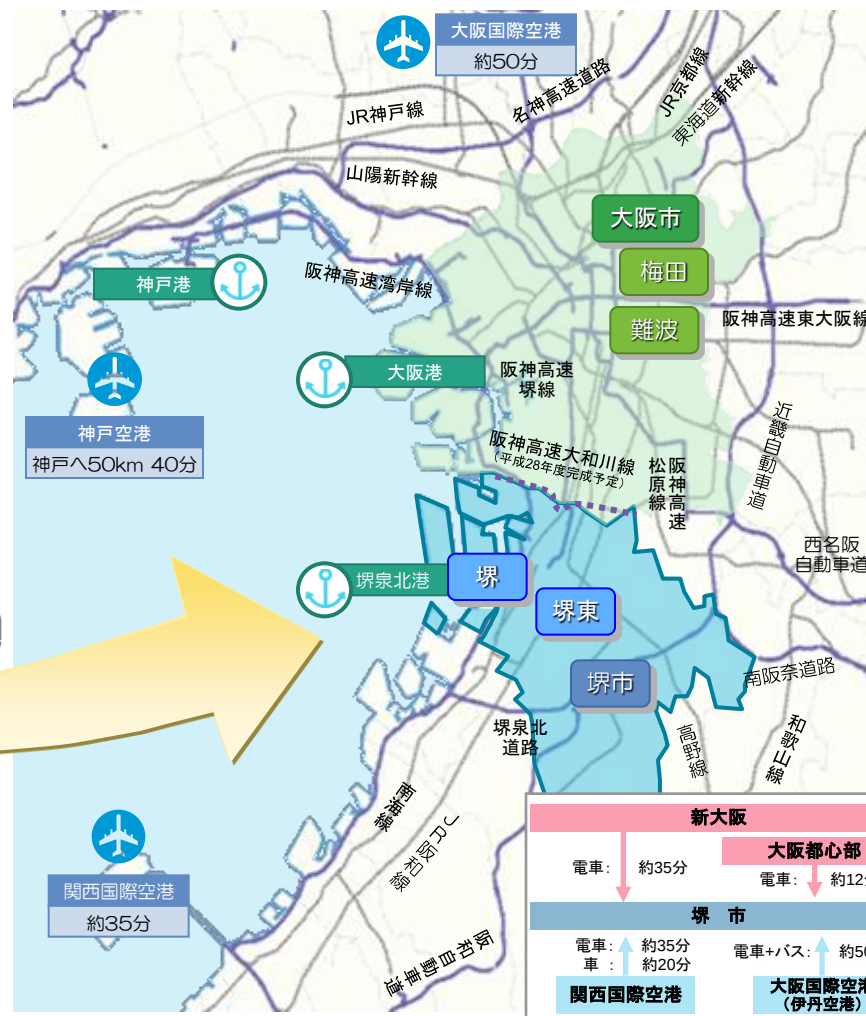


<堺市の概要>

人口総数	841,095人	製造品出荷額等	3兆5,324億円 (平成23年)	政令市第4位
世帯数	350,639世帯	人口一人当たり製造品出荷額等	421万円 (平成23年)	政令市第1位
面積	149.99km ²	海上貨物 輸移出量 (堺泉北港)	20,478,629トン (平成23年)	
人口密度	5,608人/km ²	海上貨物 輸移入量 (堺泉北港)	46,775,306トン (平成23年)	

(平成25年9月1日実績)

※堺泉北港は特定重要港湾に指定されている



新大阪		大阪都心部	
電車:	約35分	電車:	約12分
堺市		堺市	
電車:	約35分	電車+バス:	約50分
車:	約20分		
関西国際空港		大阪国際空港 (伊丹空港)	

I. 堺市のプロフィール②



◆ 臨海部、都心市街地、内陸部、丘陵部の4つの地域にそれぞれ特徴をもった産業が集積

臨海部



- 先端企業や優れた環境技術を有する企業が立地
- 近年多数の物流企業が進出

丘陵部



- 1960年代後半以降に開発された住宅地（泉北ニュータウン）
- 大阪府で生産量第一位を誇る農業地域

都心市街地



- 古くからの市街地で、商業、業務地が形成
- 機械・金属関連の工業集積地も存在

内陸部



- 中百舌鳥周辺には中小企業の総合支援機関や大学等の学術研究機関が集積
- 毛穴地区、美原地区には中小企業を中心とした工業集積地が形成

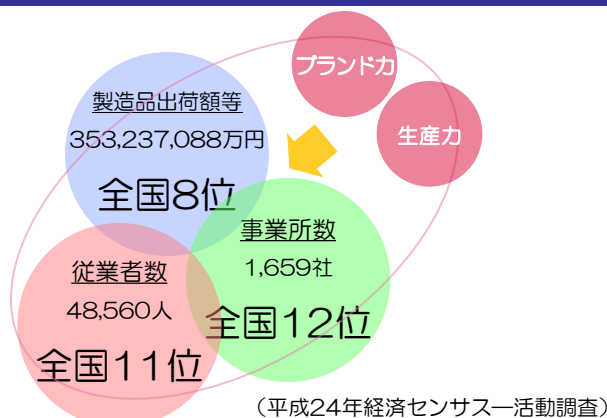


I. 堺市のプロフィール ③

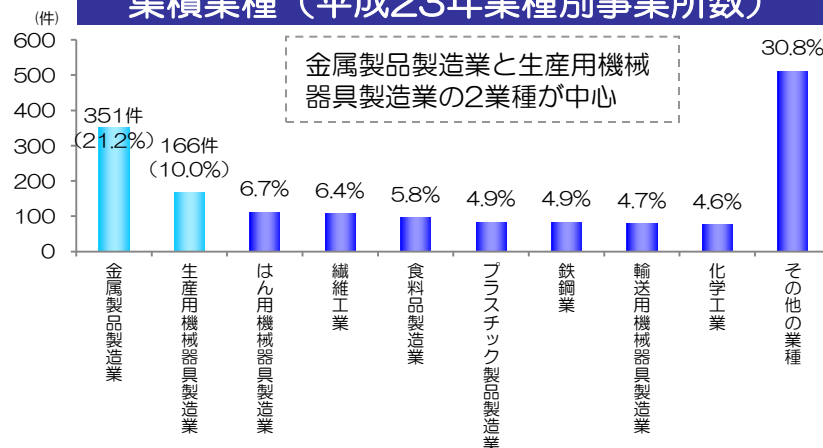
◆ 製造品出荷額等で全国第8位（前年9位）の工業都市

➤ 政令市平均と比べて、従業者、事業所ともに製造業の比率が高いのが特徴

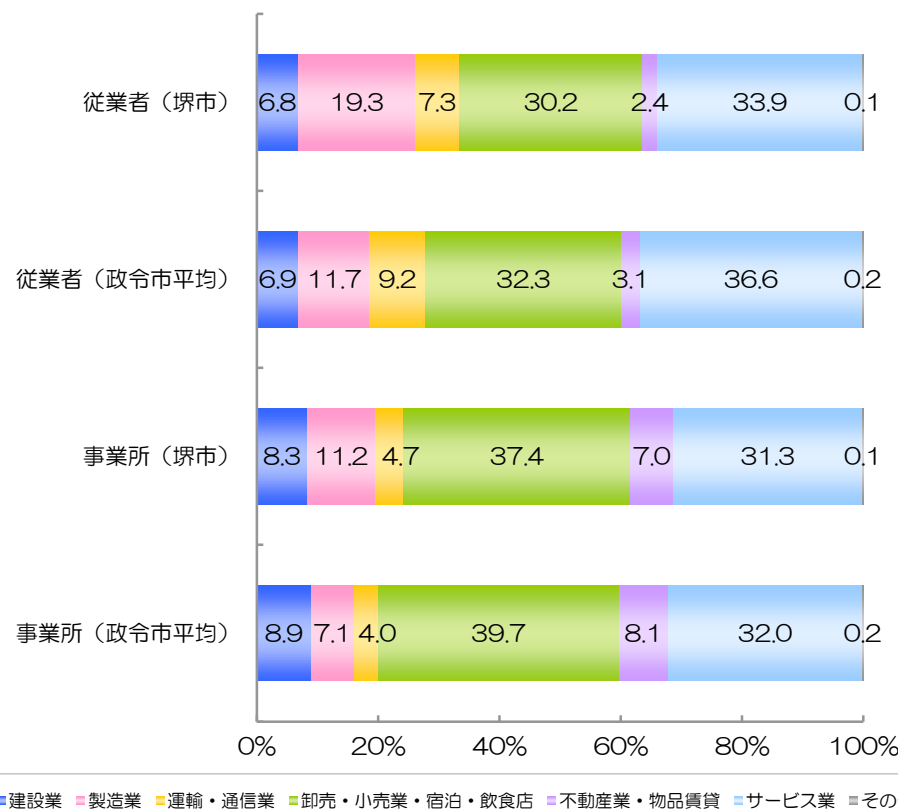
堺の工業集積力



集積業種（平成23年業種別事業所数）



産業構造の特徴



(平成24年経済センサス一活動調査)



「さかい」の名前の由来、知っていますか？

突然ですが、みなさん、「さかい」の名前の由来って知っていますか。

実は、平安時代、この地が、摂津・河内・和泉の三国の「境（さかい）」に位置しているところから「さかい」と呼ばれるようになったんです。

ちなみに、市章もこの三つの国境に発達した都市という意味で、「市」の字を三つ組み合わせたものです。

そのほか、プロフィールではご紹介できなかった「堺市」を少しご紹介します。



堺市の歴史

- ◆ 堺市周辺に人が定住し始めたのは旧石器時代のころ。市内の遺跡からは、約1万年前の打製石器や、縄文時代の土器・石器、弥生時代の銅鐸・土器などが発掘されています。4～5世紀には大和朝廷が成立しましたが、堺には仁徳天皇陵古墳をはじめ、100数基から成る百舌鳥古墳群が造られました

- ◆ 鎌倉時代には漁港として発達し、その後西日本の海運の拠点として発展していきます

- ◆ そして戦国時代、堺は貿易港として黄金の時代を迎えます。この時代、堺は、対明貿易や南蛮貿易など海外との交流拠点として発展しました。当時の堺は世界でも珍しい環濠都市を形成し、自治都市として繁栄しました



アユタヤから帰国する朱印船の図

- ◆ 明治以後、近代工業の発展、人口の増大、市域の拡大、交通の発達など、急速に近代化が進み、今日も力強い発展を続けています

堺市の史跡



<旧堺燈台>

- ◆ 旧堺燈台は、現存する日本最古の木造洋式灯台です（左写真）
- ◆ 昭和47年に国の史跡に指定され、今なお、堺のシンボルの一つとして保存されています

<浜寺公園駅駅舎>

- ◆ 辰野片岡事務所の設計により明治40年に建てられた私鉄最古の駅舎です
- ◆ ハーフティンバー様式の外観は、柱や梁が幾何学的にデザインされており、学術的にも高い評価を得ています



<土塔（どとう）>

- ◆ 「土塔」は、奈良時代に堺市出身の僧行基らによって土で築かれた日本で唯一の仏塔で、昭和28年国の史跡に指定されました
- ◆ 平成21年4月、復元整備によって創建当時の姿が再現されました



Ⅱ. 堺市の市政運営について



- (1) 堺市産業の振興 … 9
- (2) 堺市の文化・観光振興 … 13
- (3) 「クールシティ・堺」の実現に向けて！ … 14
- (4) 行財政改革の取組 … 15
- (5) めざすべき堺の将来像 … 18

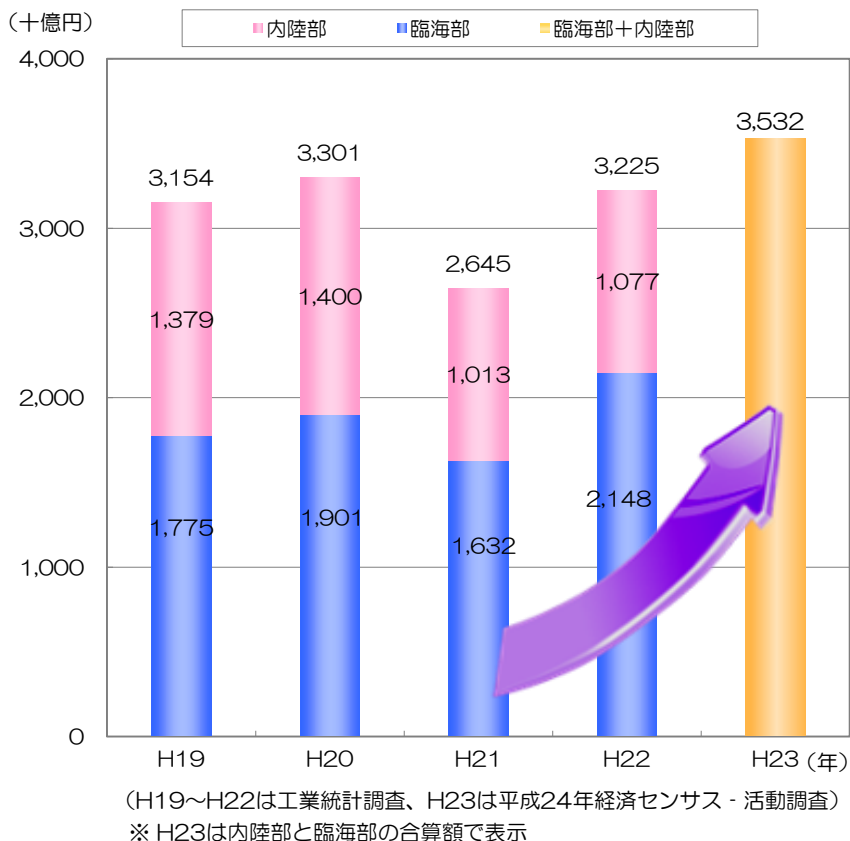
（１）堺市産業の振興①

～活発な製造業～
古くからものづくりの伝統を継承



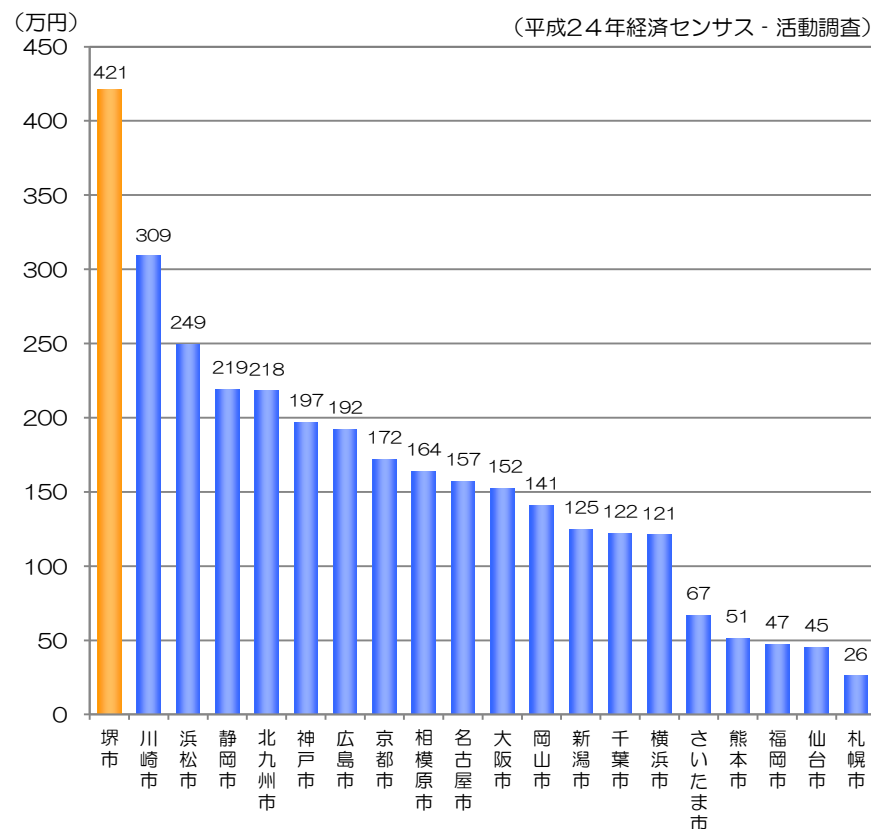
- ◆ 製造品出荷額等は、9.5%増加し、過去最高額を更新
- ◆ 大阪府全体の21.4%を占める

製造品出荷額等の推移（従業員4人以上）



- ◆ 人口一人当たり製造品出荷額等は、昨年に引き続き、20政令市中第1位

人口一人当たり製造品出荷額等（従業員4人以上）



(1) 堺市産業の振興② ～企業の誘致施策～

◆企業立地促進条例（平成17年）

不均一課税（税の軽減）を採用、その上限を設定していない点など、全国でもトップレベルのインセンティブ
域内既存企業の再投資の活性化、及び新規の大規模な企業投資の誘致に成功

※ 企業立地促進法の国同意地域が堺市全域に拡大 ⇒ 先端技術を持った企業の進出に期待

◆工場立地法地域準則条例（平成18年）

関西初の緑地規制の緩和（工業専用地域、工業地域で20%→10%、準工業地域で20%→15%）

認定実績（平成17年12月～平成25年3月）

認定件数	71社
投資見込額 （条例認定分）	約9,300億円
雇用見込数 （うち市内居住数）	約5,000人 （約1,450人）

【条例認定企業の投資による経済波及効果額】

1兆3,214億円

市外への出荷額増加による効果（フル稼働ベース：年間）

（堺市委託調査業務「平成22年度企業立地波及効果調査検討業務」より）

対象区域を**内陸部まで拡大**（平成26年度まで期間延長）

平成25年3月 新たに**7社**（投資総額**190億円**）を認定

うち**3社**が**内陸部**

堺市への企業本社の流入

- ✓ 直近 3年間の企業本社の転入超過件数は34社で、**西日本第2位・全国市区町村中第9位**
- ✓ 過去10年間の企業本社の転入超過件数は83社で、**西日本第1位・全国市区町村中第9位**
（帝国データバンク調べ）

(1) 堺市産業の振興③ ～堺浜周辺の状況～

◆ グリーンフロント堺

- ・省エネの液晶パネル工場と創エネの太陽電池工場を併設する世界最大規模の環境先進ファクトリー
- ・堺浜臨海部に127万㎡の敷地面積
- ・液晶パネルの生産ライン稼働率は約9割まで回復

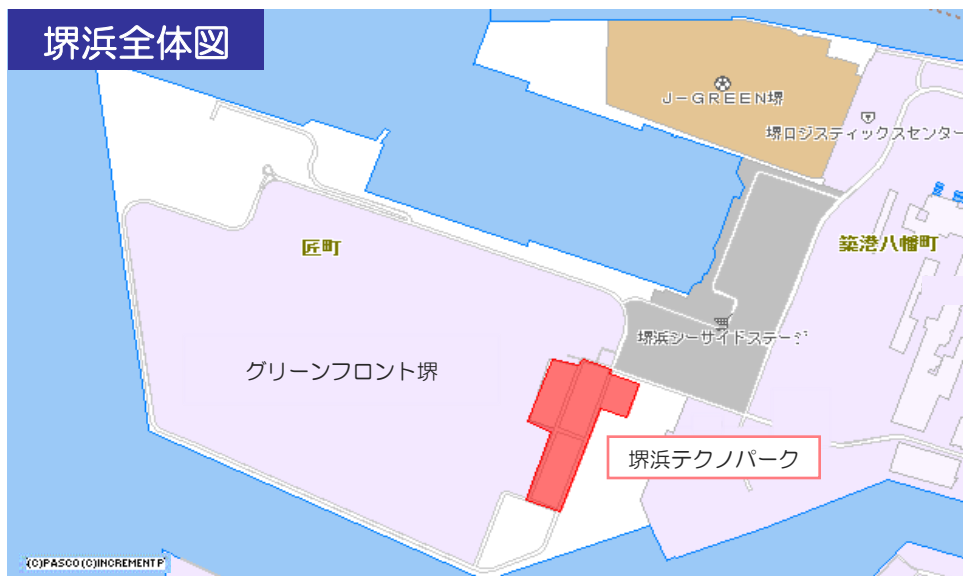
◆ 堺浜テクノパーク（中小企業クラスター）

- ・グリーンフロント堺の隣接地に約9.5haの工場用地を造成
- ・優秀な技術を有する企業が集積、12社が操業を開始

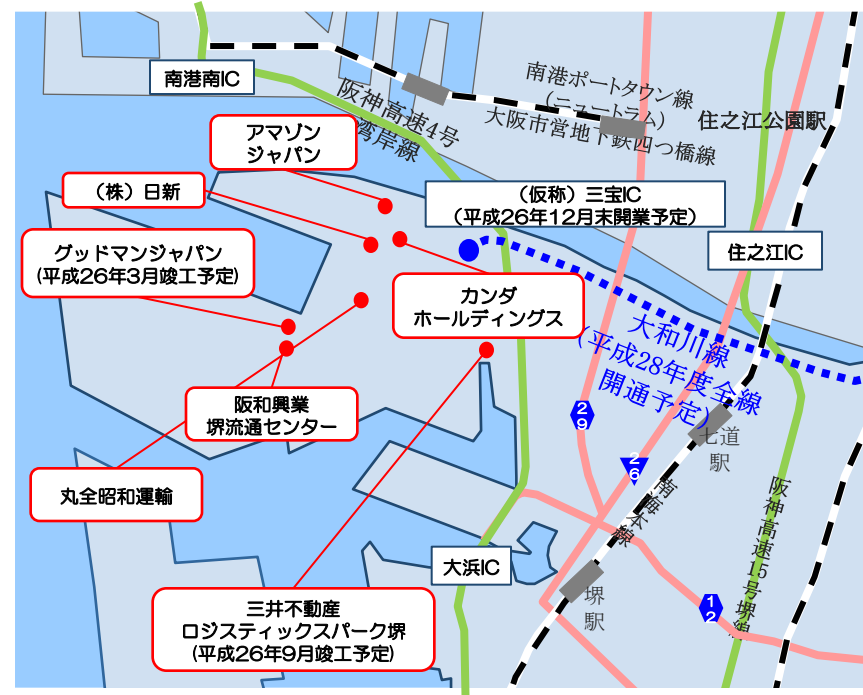
◆ 物流拠点の形成

- ・高速道路網や関西国際空港が整備され地理的な利便性が高いことから、新たに物流センターが進出
- ・進出企業7社のうち5社が操業を開始、残りの2社は平成26年に竣工予定
- ・税収はもとより、雇用吸収効果に期待

堺浜全体図



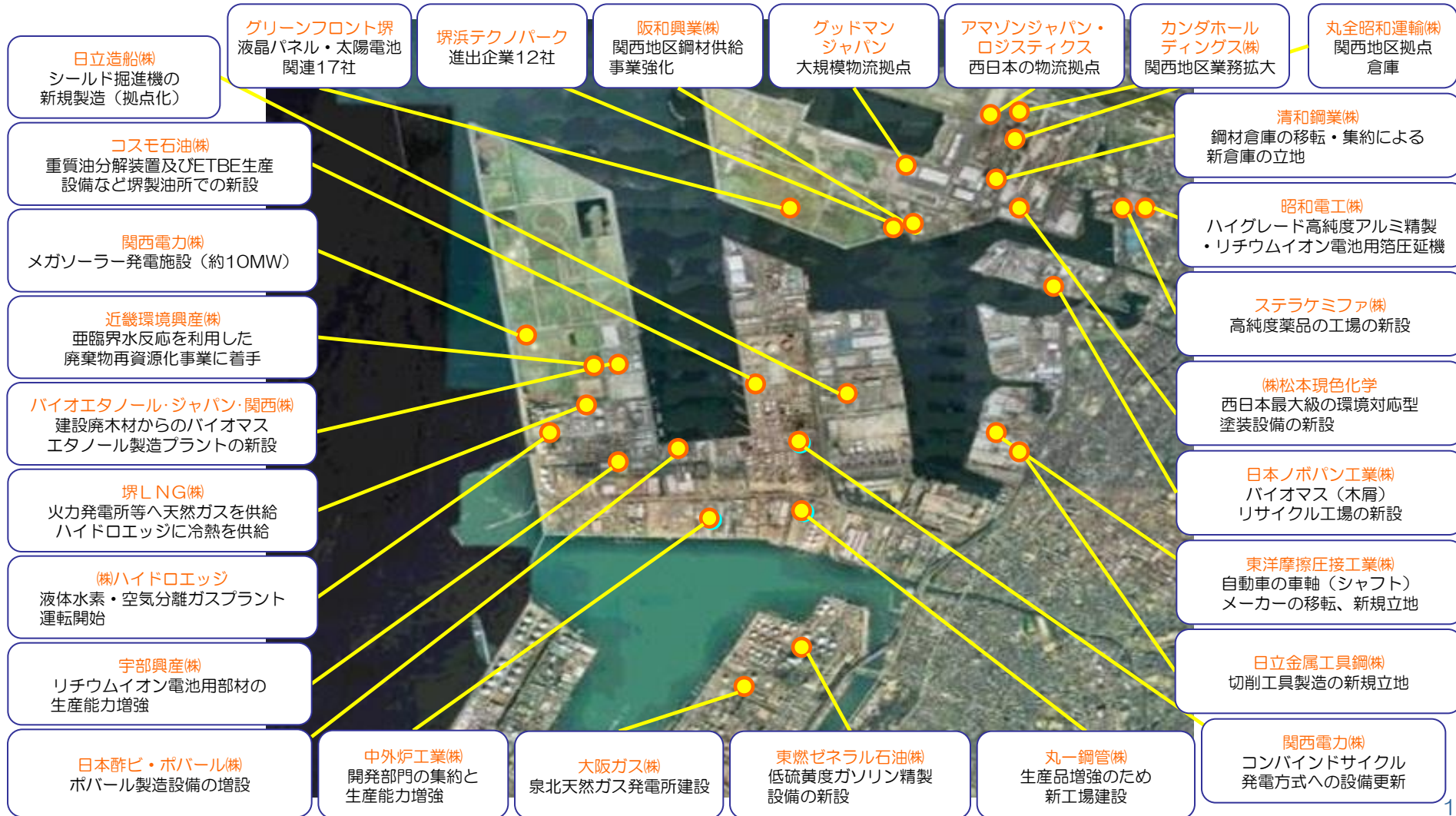
新たな物流センターの集積



(1) 堺市産業の振興④ ～臨海部への投資状況等～

※一部について表示紹介

- ◆ 企業立地促進条例施行後71件、9,300億円の投資を認定。
- ◆ シャープ㈱及び関連企業で条例認定約7,000億円、その他を含めて約1兆円の投資予定



(2) 堺市の文化・観光振興

- ◆ 本市が有する歴史文化を活かすとともに、地理的利便性（高速道路網や関西国際空港へのアクセス）を活用し、文化・スポーツ・観光施策を推進
- ◆ 観光ビジター数は平成17年度の463.7万人から平成23年度は789.9万人（70%増）に、1,000万人をめざして、観光施策を中心に推進

堺市立歴史文化にぎわいプラザ （文化観光拠点の整備事業）

- ◆ 堺観光の玄関口として観光ネットワークの基点となる施設を着工。平成27年3月開設（関連予算：約36億円）
- ◆ 千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館、観光案内展示室が一体となって堺の歴史文化の魅力を発信
- ◆ にぎわいプラザに併設して、民間の来訪者サービス施設（飲食・物販）を誘致
⇒にぎわいプラザを基点に市内周遊への誘導を図り、まちの賑わい創出と都市活力の向上を目指す



J-GREEN堺 （堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター）

- ◆ 日本最大級のサッカー施設（サッカーフィールド14面、フットサルフィールド8面など）が平成22年4月にオープン
- ◆ 最大286人が宿泊できる「DREAM CAMP」が平成24年4月にオープン
- ◆ 来場者数は年々増加傾向にあり、平成24年度は約64万人
- ◆ 将来のなでしこジャパンの選手を育成する「JFAアカデミー堺」が平成24年4月に開校
- ◆ 利用の増加に伴いサッカーフィールド2面を増設（平成27年度完成予定）

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録推進

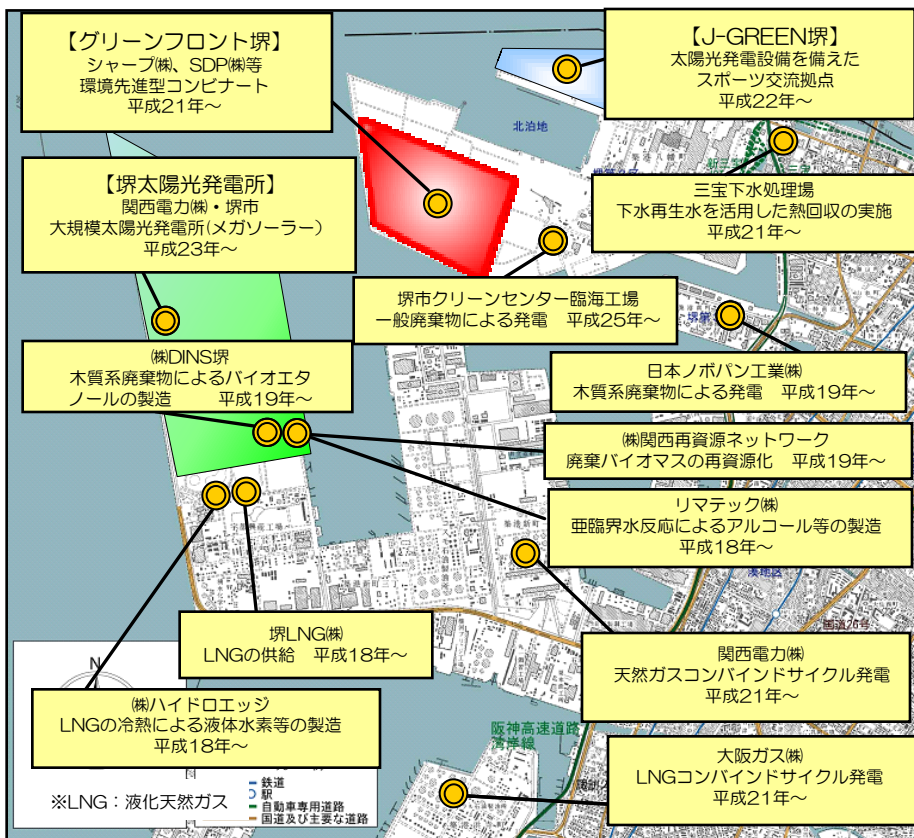
- ◆ 世界三大墳墓に数えられる「仁徳天皇陵古墳」をはじめとする百舌鳥(もず)・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けて、行政だけでなく産業界も含めたオール大阪で早期の登録をめざし取組みを強化
- ◆ 平成22年11月にはユネスコ世界遺産暫定一覧表に掲載
- ◆ 平成25年6月、世界遺産登録推薦書原案を文化庁に提出
- ◆ 世界遺産登録による経済波及効果として、経済波及効果は約169億2,500万円、増加ビジター数約141万人を見込む
(関西大学 宮本勝浩教授らによる試算（平成23年10月6日公表）)



(3) 「クールシティ・堺」の実現に向けて！ ～先導的な都市環境の形成～

- ◆国内最大級の大規模太陽光発電所、廃木材からバイオエタノールを製造する世界初の工場、太陽光発電によるスポーツ交流拠点「J-GREEN堺」や高効率ごみ発電施設を備えた清掃工場など、次世代エネルギーに関して我が国を代表する施設が集積
- ◆太陽光発電システムについて、まち全体で太陽エネルギーを活用する「まちなかソーラー発電所」の実現をめざす

次世代エネルギー拠点の集積



国内最大級の太陽光発電所～堺太陽光発電所～

＜堺太陽光発電所の概要＞

- ・実施体制：関西電力および堺市が共同実施
〔関西電力：建設・運営、堺市：普及啓発事業等〕
- ・操業開始(全区画)：平成23年9月
- ・発電電力量：約1,100万kWh/年
(一般家庭 約3,000軒分相当)
- ・CO2 削減量：約4,000トン/年
- ・近隣のシャープ堺工場で生産した
薄膜型太陽電池約7万4,000枚を
利用



＜堺太陽光発電所＞

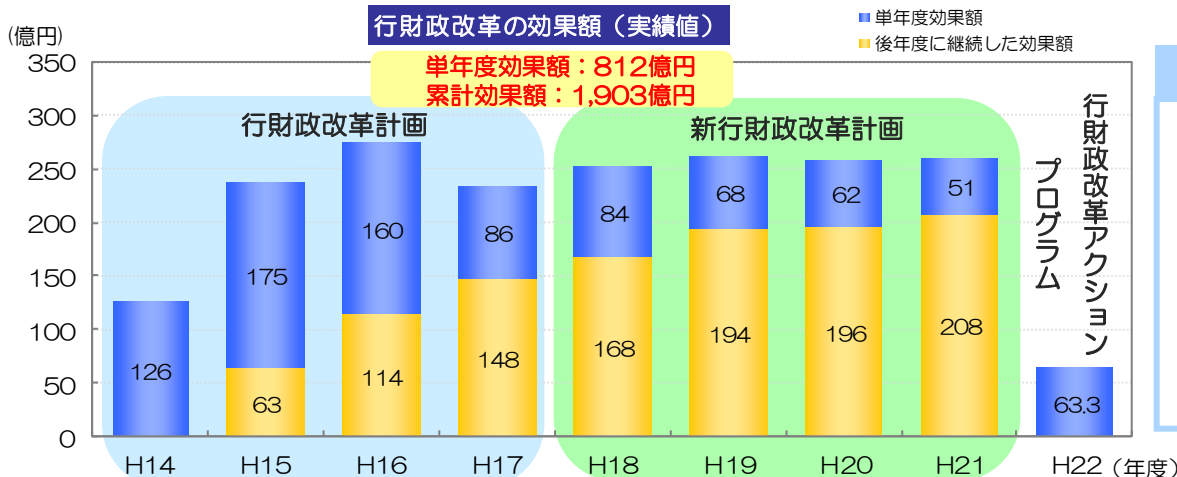
全国屈指のソーラー推進都市～太陽光発電設置補助～

まちなかソーラー発電所推進事業
(太陽光発電設備の設置補助)の
補助実績【平成21～23年度】は、
3,694件。全世帯数に対する設置補
助件数の割合は、政令指定都市第1位。
平成24年度も1,919件の実績。



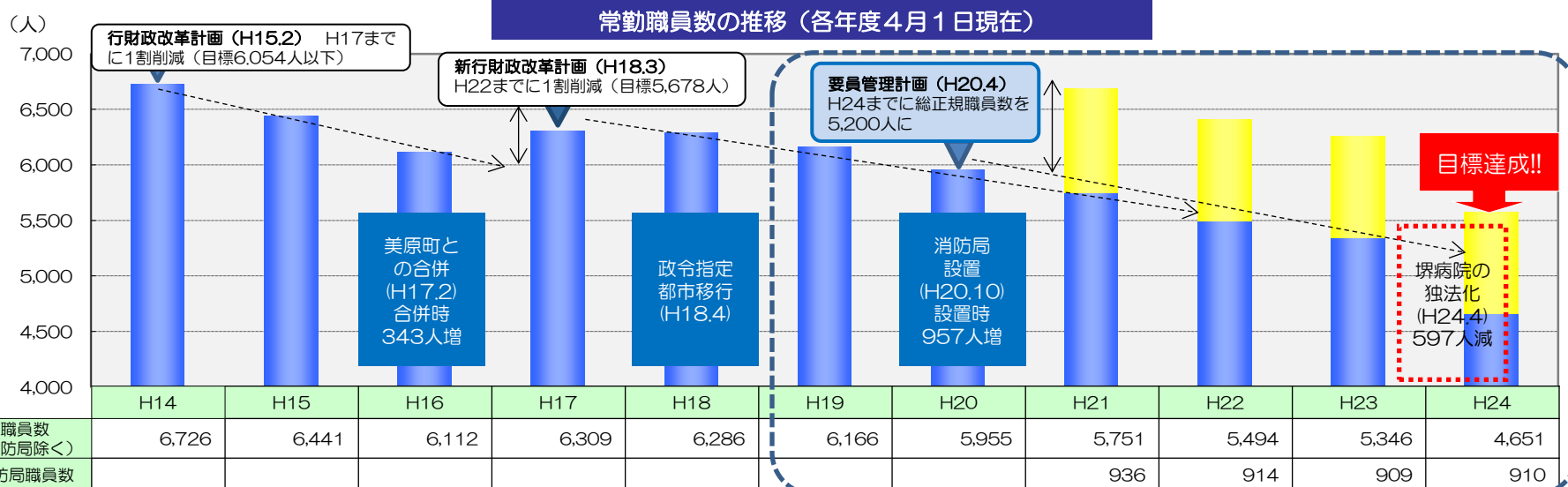
(4) 行財政改革の取組① ～これまでの取組～

- ◆平成15年2月 行財政改革計画（平成16年4月改定 計画期間：平成15年2月～平成18年3月）
- ◆平成18年3月 新行財政改革計画（平成19年7月改定 計画期間：平成18年4月～平成22年3月）
- ◆平成20年4月 要員管理計画（平成24年4月1日までに常勤正規職員を5,200人とする）⇒ 目標達成



とくに成果を上げた取組

- 職員数の削減・・・6,726人（H14）→ 4,651人（H24）
- 小学校給食調理業務委託・・・94校全校委託化（H21.4月）
- 生活ごみ収集業務・・・全世帯数の100%を委託化（H25.3月末）
- 公立保育所民営化・・・20か所/40か所（H25.3月末）



(4) 行財政改革の取組② ～行財政改革プログラム～

◆ 持続可能な行財政運営の確立に向けて、市の仕事をゼロベースで総点検

◆ 3年間で230億円（累計）以上の効果

☞ 平成24年度の行財政改革効果額（単年度）は53.2億円（平成23年度は51.7億円）

行財政改革プログラム

計画(平成23～25年度)

平成24年度実績

総点検の徹底

《効果額（累計） 76億円以上》

- 事務事業の総点検
- 公共施設等運営の見直し
- IT経費の見直し
- 外郭団体の見直し

《効果額 36.9億円》

- 施策・事業の見直し（14.5億円）
- 外郭団体の見直し（8.8億円）
- 歳出構造の見直し（13.6億円）

少数精鋭による 組織運営

《効果額（累計） 87億円以上》

- OB職員も含めた要員管理の推進

《効果額 9.3億円》

- 総人件費の削減

収入確保策の強化

《効果額（累計） 67億円以上》

- 未利用・低利用地等の有効活用
- 市税収入率の確保、債権管理の適正化

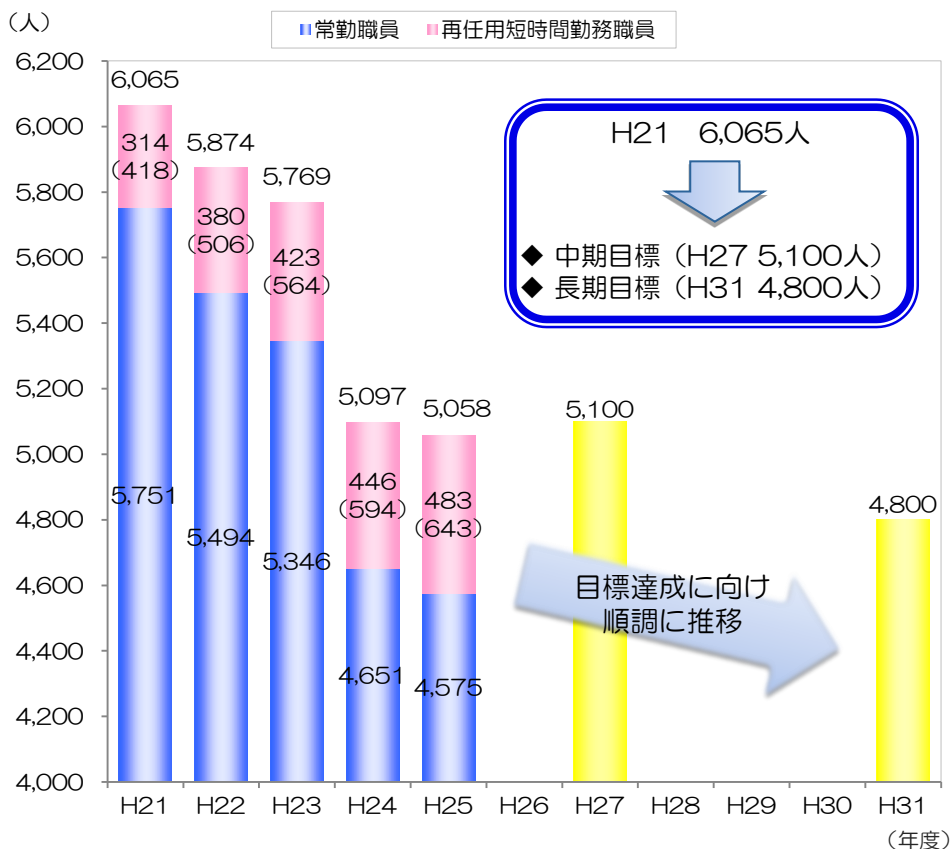
《効果額 7.0億円》

- 財産の有効活用等（6.0億円）
- 手数料の見直し（1.0億円）

(4) 行財政改革の取組③ ～要員管理方針～

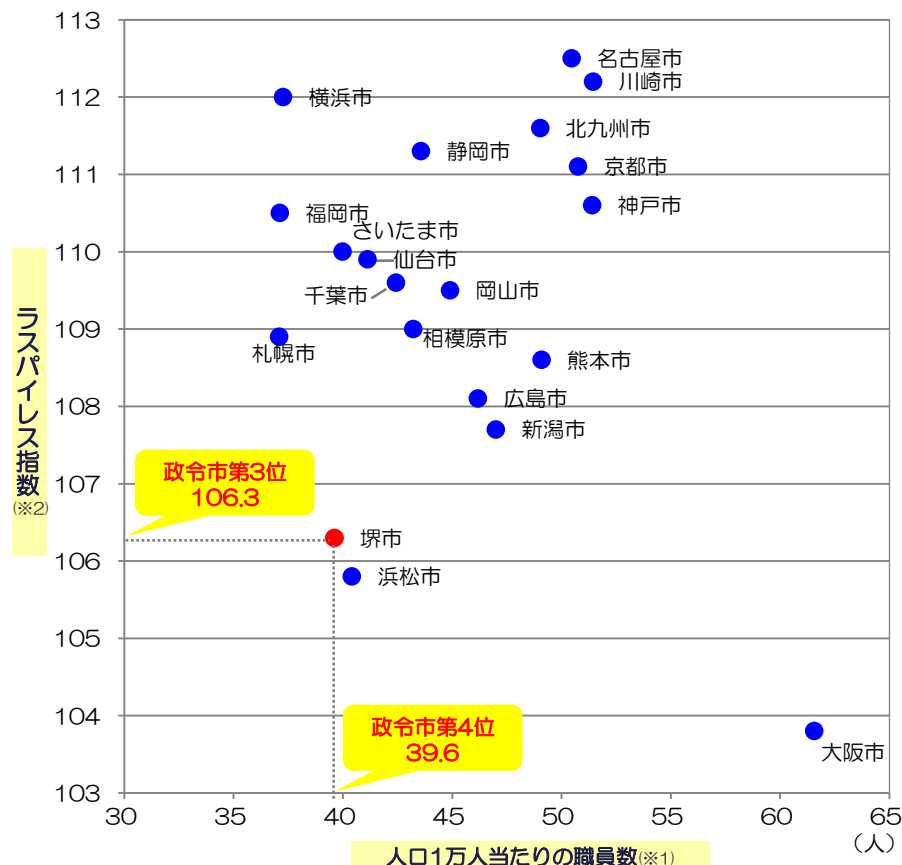
- ◆ 日本一スリムで強靱な組織・人員体制の構築を主眼に、平成24年3月「堺市要員管理方針」を策定
- ◆ 平成21年4月1日を起点として、10年間で要員数、総人件費を2割以上削減

職員数の推移



※ 各年度4月1日現在の職員数 (H21～H25までは実績値)
 ※ 要員数：常勤職員と再任用短時間勤務職員 (再任用職員を0.75人に換算) の人数の合計 (消防局職員を除く)

人口1万人あたりの職員数とラスパイレス指数



※1 職員数：平成24年4月1日 一般行政職員数 (平成24年地方公共団体定員管理調査)
 人口：平成24年4月1日 推計人口
 ※2 ラスパイレス指数：平成24年地方公務員給与実態調査

(5) めざすべき堺の将来像

未来へ飛躍する自由・自治都市

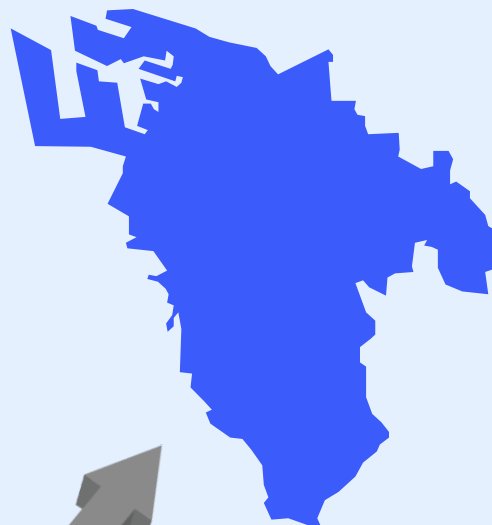
～安らぎ・楽しみ・活躍する場として～

＜将来像が実現した時の堺の姿＞ (イメージ)



市 民

一人ひとりが**主役**となり、自らのまちを創り上げ、すべての市民が**安全・安心**で**幸せを実感**できている



子 ども



すべての子どもが**健やかに成長**し、夢の実現に向けて無限の**可能性に挑戦**している



社会経済

優れた人材・技術が集積し、常に**新たな価値が創造**され、経済と環境が調和した**持続可能な社会**が実現している



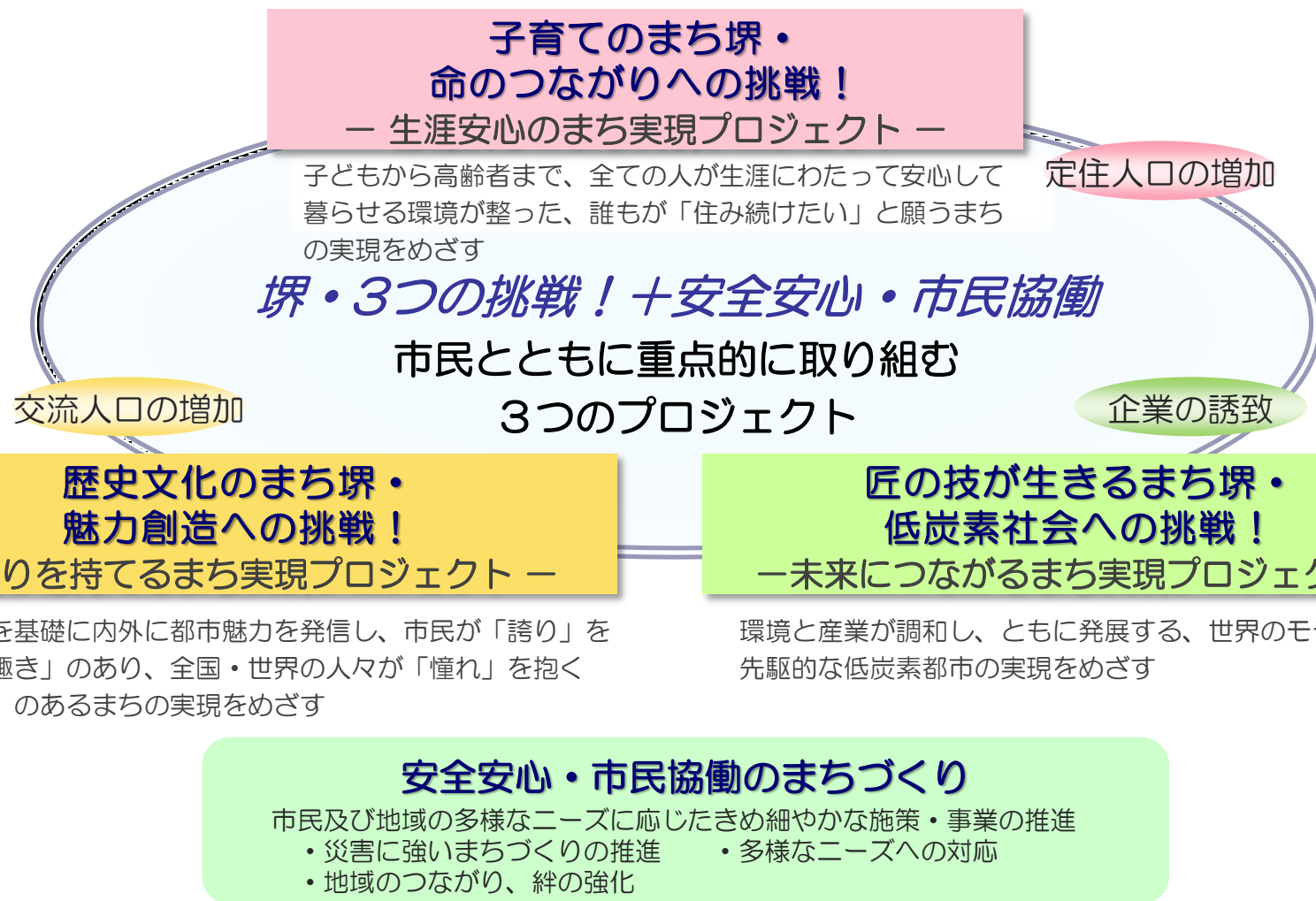
人が集まる
企業が集まる
情報・文化が集まる
投資が集まる
モノが集まる

ま ち



市民が**誇り**を感じ、世界に**魅力**を発信するまちになり、**人・モノ・情報が集まる**ことで、新しい文化が創造されている

- ◆ 平成23年3月、今後10年間の市政の基本指針となる堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」を策定
- ◆ めざすべき堺の将来像の実現に向けて、3つの重点的プロジェクトに取り組む





匠の技が冴える堺の伝統産業

堺には世界に誇れる伝統の技が息づいています。プロの料理人から高い評価を受ける刃物や鉄砲鍛冶をルーツとする自転車をはじめ、昆布、線香、敷物、注染・和ざらしなど、職人の知恵と経験が生きる匠の技を紹介します。

刃物

磨き抜かれた匠の技

16世紀後半、ポルトガルから伝来したタバコの葉の栽培が盛んになり、堺で初めて「タバコ包丁」が作られるようになります。これが、堺刃物のはじまりといわれています。その切れ味の鋭さから、江戸時代には、幕府から「堺極（さかいきわめ）」の印を受け、全国にその名をとどろかせました。一本一本丁寧に仕上げられた堺の包丁は、プロの料理人からも高く評価され、使用する包丁のほとんどが堺製であるといわれています。



自転車

鉄砲鍛冶から受け継がれた知恵と技

戦国時代から、金属加工について豊かな経験と高度な技術を受け継いできた堺の鉄砲鍛冶。自転車のフレーム加工や部品を取り付けるネジの製造などに大いに力を発揮しました。鉄砲鍛冶の技術を生かして、故障の多い明治時代の輸入自転車の修理や部品製造にあたったことが、堺の自転車産業の始まりで、現在も国産自転車の約4割のシェアを誇っています。



昆布

感性が光る職人の技

江戸時代中期、北海道で採られた昆布が下関を経て堺へ通じる航路（コンブロード）が開かれ、堺の昆布加工業が本格的に発達しました。堺では、熟練した昆布職人によって手作りで加工される「おぼろ」の他に、「とろろ」や佃煮など、さまざまな種類の加工品も扱っています。



注染・和ざらし

やさしい風合いを生み出す手染めの魅力

和ざらしとは、木綿から不純物を取り除いて漂白した生地のことです。江戸初期から水量の豊富な石津川沿いで多く生産されてきました。伝統的な注染で丹念に染められたゆかた地は、機械で表面だけにプリントしたものと違い、生地裏側にまでその柄が色あざやかに出ており、長く着ても色あせがないことが特長です。



敷物

手織りから機械織りへと、受け継がれた敷物文化

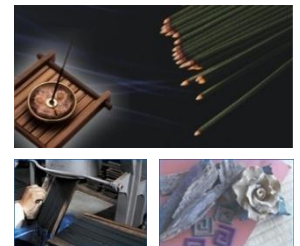
堺手織緞通（だんつう）は、江戸時代中期、ある糸物商人が製造販売したのが始まりといわれています。明治時代、欧米に紹介されると、日本の重要な輸出品として、生産高を急激に伸ばしました。今では新素材をはじめ、機能やデザインに優れた多種多様な製品が生み出され、堺の新たな敷物文化として脈々と受け継がれています。



線香

原料へのこだわりと、調香の妙

16世紀の終わりに中国から製法が伝わり、日本で初めての線香が作られました。堺は当時我が国最大の貿易港であり、原料の香木が集まりやすかったことや、寺院が多かったことが線香づくりの発展を支えたと思われます。厳選された天然香料と職人技の妙が合わさり、独特の「調香」を施して完成した堺線香は、香りの芸術品と称されるほど奥深いものです。





もののはじまりなんでも堺

＜もののはじまりなんでも堺＞と言われるように、堺には、日本で初めてつくられたものがたくさんあります。

有名なものから、ちょっと意外なあんなものまで、皆さんは、いくつご存知ですか。

■私鉄－阪堺鉄道

明治18年12月、日本初の私鉄－阪堺鉄道が、難波駅から大和川北岸（大和川駅）の区間で開業。当時官営鉄道は営業していましたが、一切を民間の手でなしとげたのは阪堺鉄道がはじめてでした。



阪堺鉄道開業時の「和歌号」

■傘

文禄三年(1594)、納屋助左衛門が南方貿易で今のように開閉できる傘を持ち帰り、豊臣秀吉に献上し傘が普及しはじめました。自在に開閉できる傘は助左衛門が持ち帰る以前に、南中国から伝えられたとする説もあります。

■水練学校

海国日本の青少年がカナヅチでどうする！の考えのもと、大阪毎日新聞は明治39年7月、浜寺水練学校をスタートさせました。エリートコーチの徹底した指導によって、“三日で泳げる”と評判になり、全国各地から入門者がつめかけました。

■瓶詰めの酒

もともと日本酒は全部樽詰めで、小売は杓で量り売りしていましたが、杓から壺に移す際こぼれるお酒のロスをなくそうと、堺の酒造業者の鳥井駒吉が瓶詰めの酒を考案しました。彼はその後、アサヒビールの前身である大阪麦酒を創設しました。



■金魚

金魚の産地といえば、奈良県大和郡山市などが有名ですが、文亀二年(1502)遣明貿易で栄えた堺の港に、はじめて原産地中国からもたらされました。その時の金魚は赤・白・黒の三種類でした。

■三味線

永禄五年(1562)、堺の琵琶法師に琉球帰りの船乗りがみやげに持ち帰った珍しい楽器(サムシェン)－これが三味線のはじまりです。中小路法師はこの楽器の二本の弦を三本に、丸い胴の部分下角形に、その皮を蛇のかわりに猫の皮に改良し三味線の原型が誕生したのです。

■国道第一号

推古天皇の時代につくられた難波から飛鳥までの大道が、日本最古の官道といわれ、そのうち堺から飛鳥への道が「竹の内街道」と呼ばれました。



■学生相撲

大正8年11月、大浜で第一回全国学生相撲大会が開かれました。新聞に「三万の観覧者、或いは熱奮し或いは酔うが如し」と記されるくらいの熱狂ぶりでした。



現在の大浜公園相撲場

■銀座

全国に六百近くある銀座という名は、慶長六年(1601)に銀貨を作る鑄造所につけられたのが最初で、その銀貨を日本ではじめて作ったのが堺の人たちです。堺では銀の売買、銀細工をする人たちが、各地から荒銀を買い集め加工して売っていました。徳川家康は貨幣制度を確立するため、伏見に鑄造所をつくり、その技術長に堺の湯浅作兵衛を選びました。

Ⅲ. 堺市の財政状況について



(1) 平成25年度予算の概要	… 23
(2) 健全化判断比率	… 24
(3) 平成24年度普通会計の決算状況	… 25
(4) 特別会計の状況	… 29
(5) 公営企業会計の状況	… 30
(6) 地方独立行政法人 堺市立病院機構	… 31
(7) 外郭団体の状況	… 32
(8) 市債残高の推移	… 34
(9) 基金の積立状況	… 36
(10) 財政収支見込（一般会計）	… 37

(1) 平成25年度予算の概要

- ◆平成24年度補正予算（国の緊急経済対策を活用）と一体的に編成した「15ヶ月予算」
- ◆「生活支援」と「まちづくり」の2つの観点を主題として予算を編成
- ◆「堺・3つの挑戦」の推進と多様なニーズを捉えたきめ細やかな事業を実施

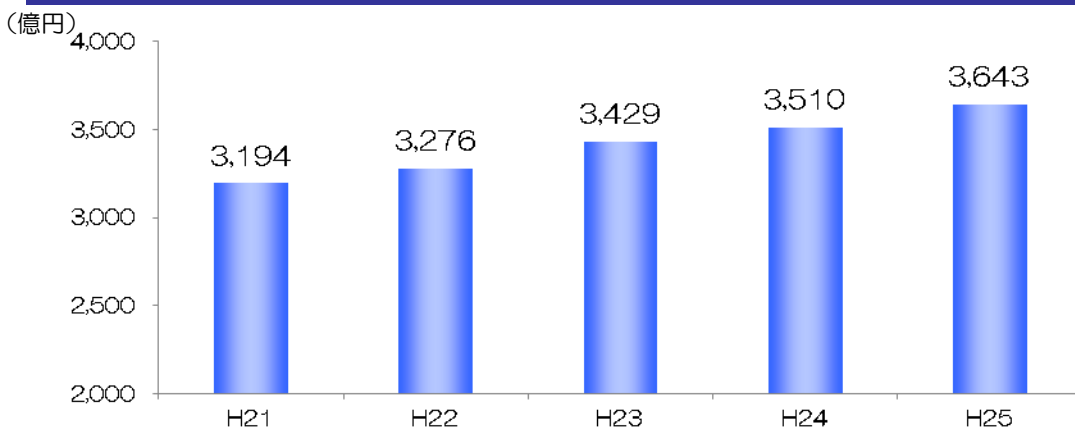
各会計の予算規模

（単位：億円、％）

会計	平成25年度 当初＋補正予算	平成24年度 当初予算	増減額	増減率
一般会計	3,643 (3,587)	3,510	133	3.8
特別会計 【8会計】	2,237 (2,226)	2,108	129	6.1
企業会計 【2会計】	799 (769)	803	▲4	▲0.5
合計	6,679 (6,582)	6,421	258	4.0

※（ ）は平成25年度当初予算額

一般会計 予算規模の推移



平成25年度一般会計予算のポイント

■ 子育てのまち堺・命のつながりへの挑戦！

- ◆保育所入所待機児童の解消 約7.8億円
- ◆学校教育のICT化 約6.5億円
- ◆新病院整備事業 約58.1億円

■ 歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦！

- ◆百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備 約7.5億円
- ◆文化観光拠点整備事業 約12.0億円
- ◆臨海部の活性化促進 約3.9億円

■ 匠の技が生きるまち堺・低炭素社会への挑戦！

- ◆中小企業への省エネ設備導入支援 約2.1億円
- ◆まちなかソーラー発電所推進事業 約3.4億円
- ◆路面電車活性化事業 約7.2億円
- ◆おでかけ応援バス拡充 約2.3億円

■ 災害に強いまちづくりの推進

- ◆耐震化の推進 約51.3億円
- ◆防災対策の推進 約1.9億円

■ 多様なニーズへの対応

- ◆区局連携の推進 約8.7億円
- ◆パスポート交付窓口開設日の拡充 約3.3億円
- ◆就労支援強化 約1.0億円

(2) 健全化判断比率

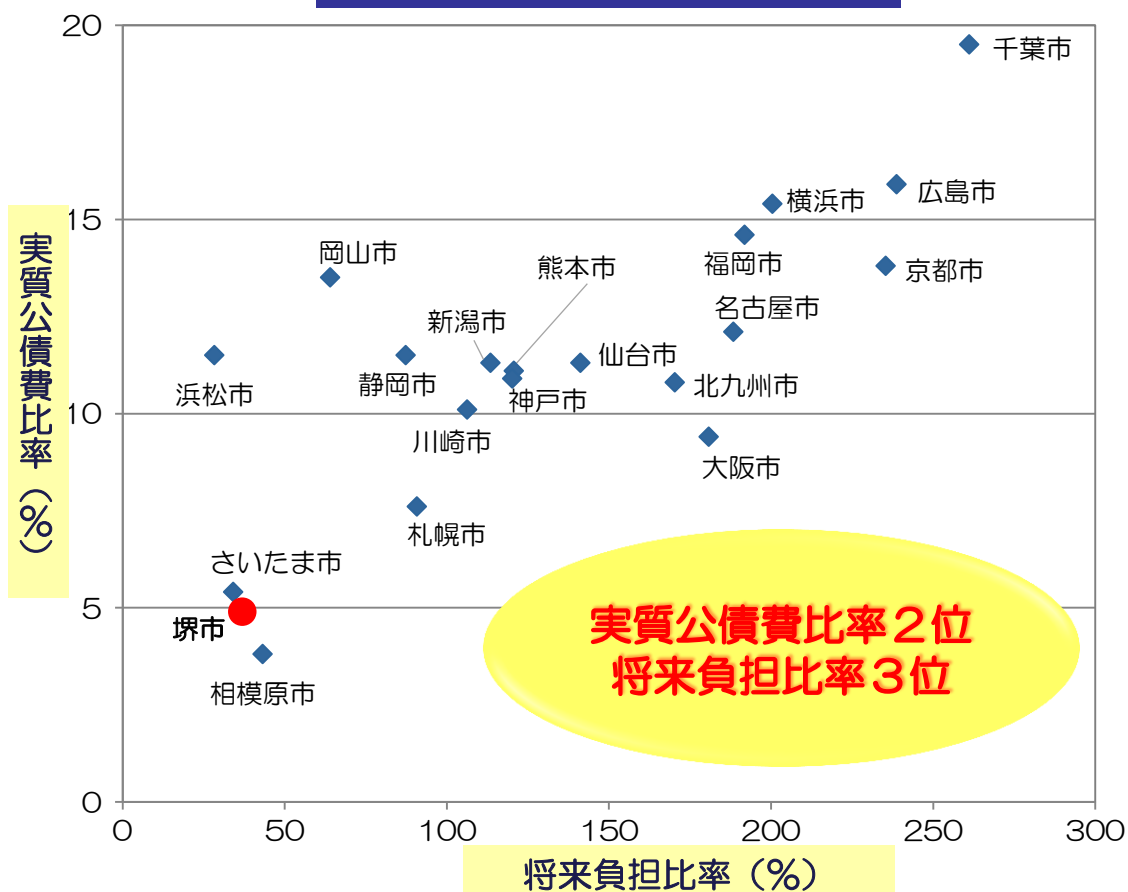
- ◆ 地方財政健全化法に基づく健全化判断比率（4指標）については、いずれも早期健全化基準を大幅にクリア

- ◆ 実質公債費比率、将来負担比率ともに低位に位置し、債務負担は非常に軽い

健全化判断比率	堺市 H24年度 決算	【参考】 早期健全化 基準
実質赤字比率	— (赤字となっていない)	11.25%
連結実質赤字比率	— (赤字となっていない)	16.25%
実質公債費比率	4.9% (4.9%)	25.0%
将来負担比率	36.9% (52.8%)	400.0%

※カッコ内は、昨年度の数値

20政令指定都市の財政状況



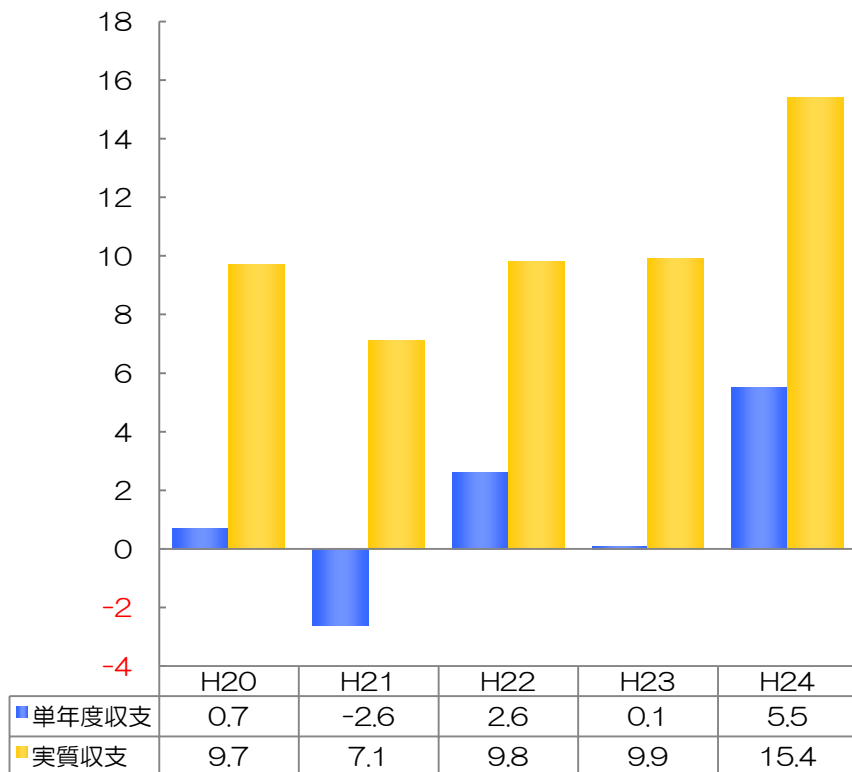
(3) 平成24年度普通会計の決算状況

◆ 実質収支は33年連続、単年度収支は3年連続の黒字を確保

- 歳入：国庫支出金は増加したが、土地・家屋の評価替えや三セク債の皆減により市税及び市債発行が減少
- 歳出：要員管理の徹底などにより人件費は減少したが、社会保障関連経費や普通建設事業費が増加

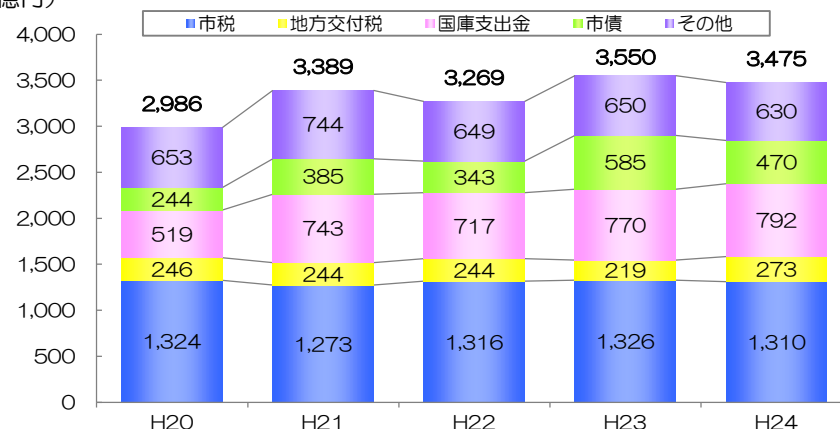
実質収支と単年度収支

(億円)



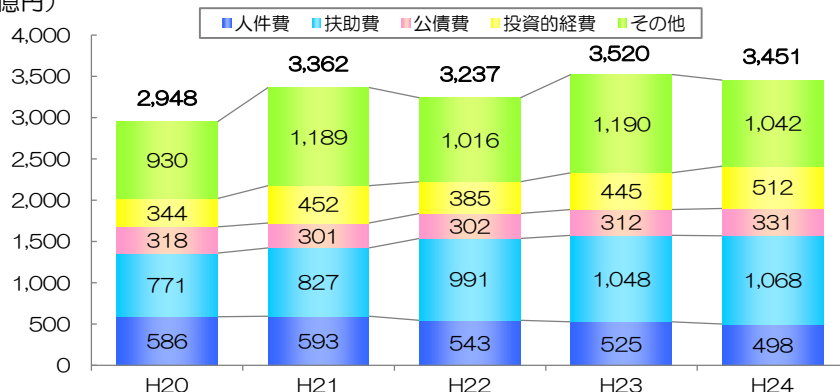
歳入決算額の推移

(億円)



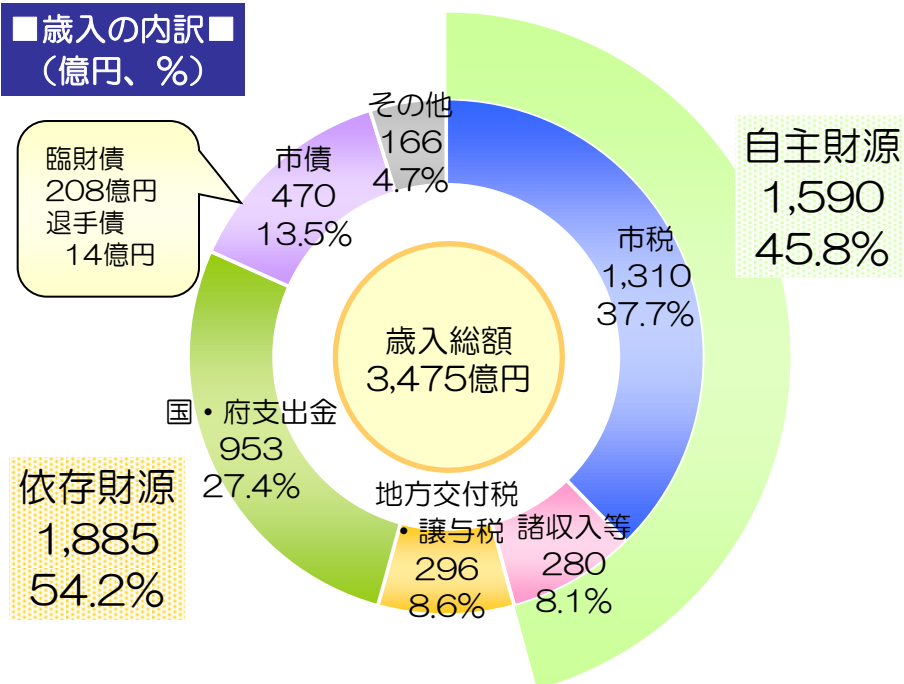
歳出決算額の推移

(億円)

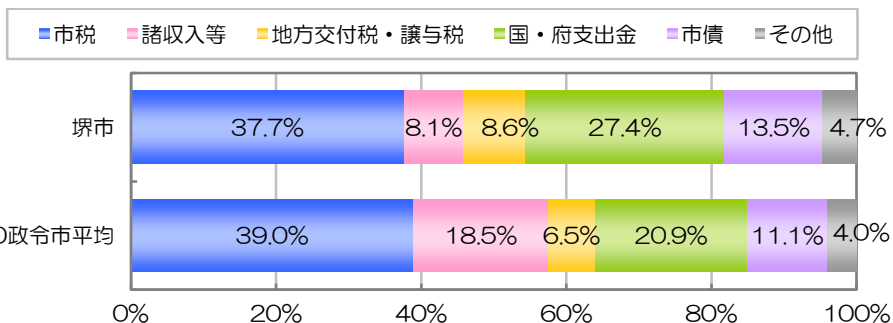


歳入構造の分析

■歳入の内訳■ (億円、%)

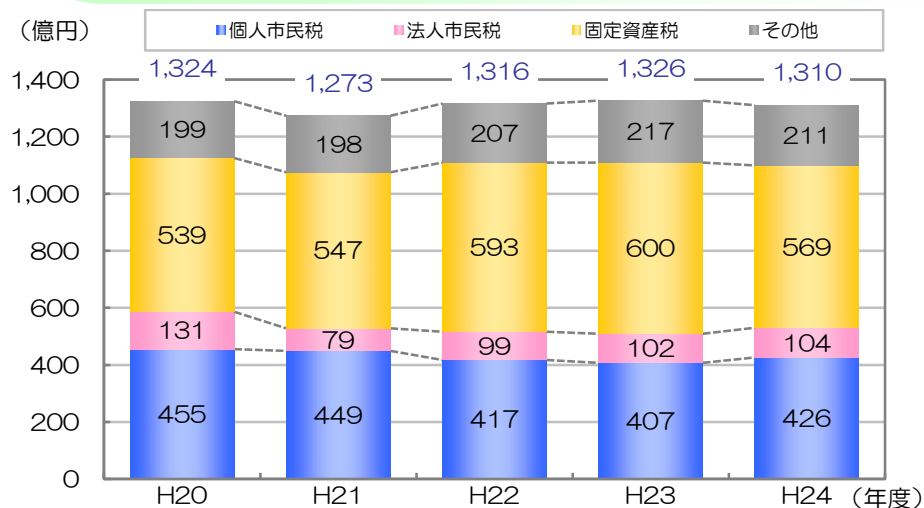


◆ セク債の皆減により、昨年に比べ市債への依存度が大きく減少 (▲3.0%)

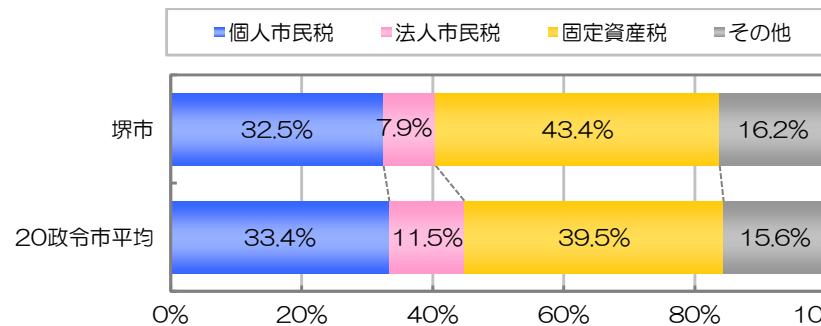


■税収構造■

- ◆ 個人市民税 → 増加 法人市民税 → 増加
- ◆ 固定資産税 → 減少 (土地・家屋の評価替え)
- ◆ 市税徴収率はほぼ横ばいで推移 (H23: 95.0% ⇒ H24: 95.1%)

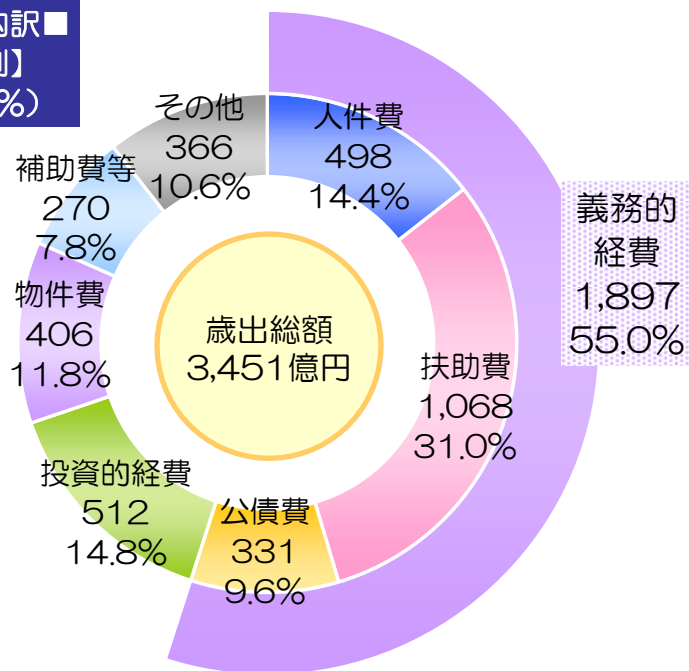


◆ 20政令市平均より、固定資産税の比率が高く、景気変動の影響を受けにくい



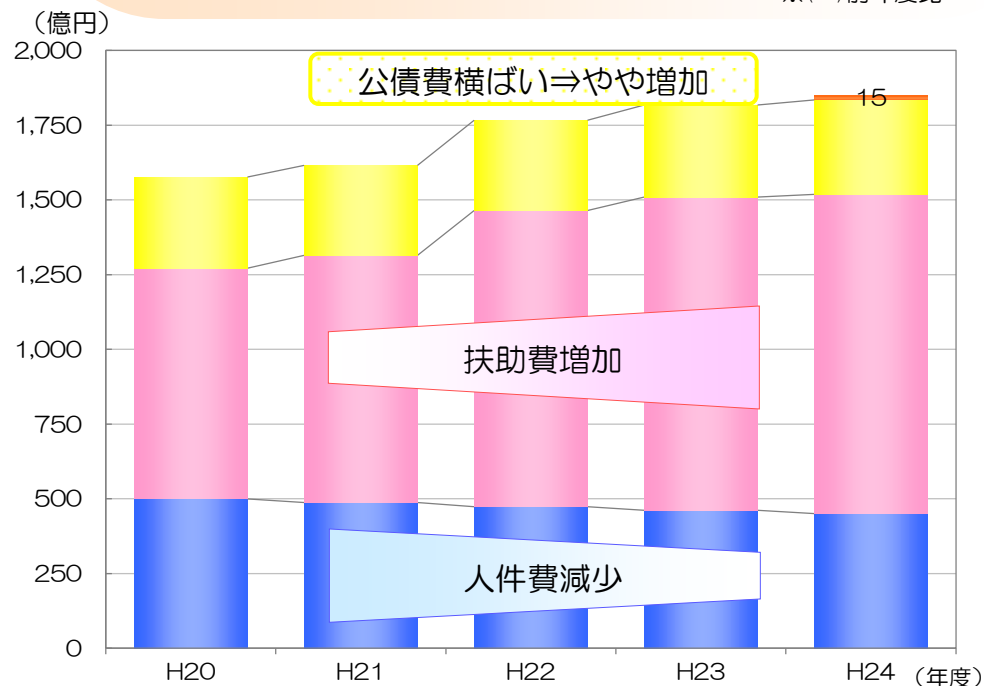
歳出構造の分析

■歳出の内訳■
【性質別】
(億円、%)



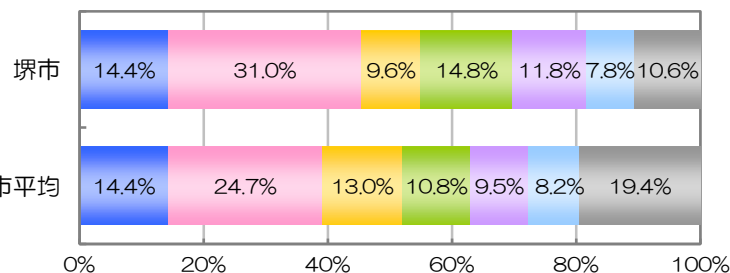
- ◆ 人件費（退職手当を除く）は、行財政改革の効果により着実に減少（▲2.4%）
- ◆ 扶助費は増加傾向にあるが伸びは鈍化（+1.9%）
- ◆ 公債費は三セク債の影響でやや増加（+7.5%）

※()前年度比



◆ 20政令市平均より公債費負担が少ない

■人件費 ■扶助費 ■公債費 ■投資的経費 ■物件費 ■補助費等 ■その他



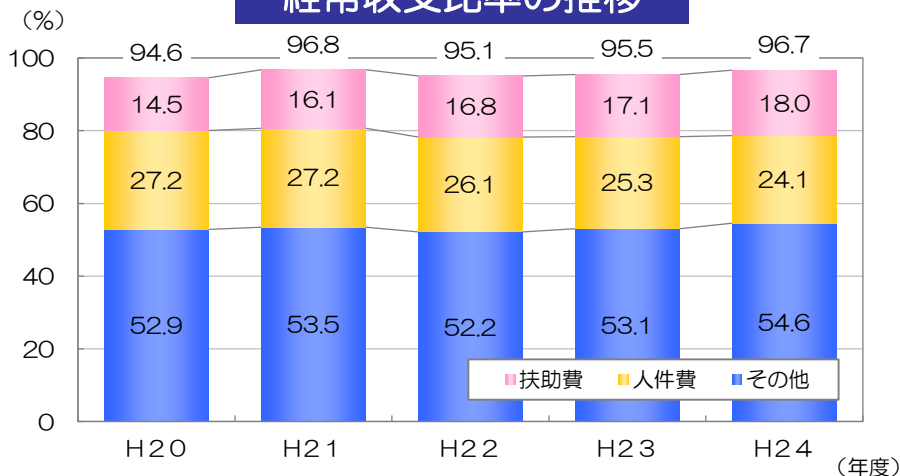
公債費	305	301	302	308	331 (15)
うち三セク債分					
扶助費	771	827	991	1,048	1,068
人件費	499	487	473	461	450

* 公債費については公的資金補償金免除繰上償還額を除く
* 人件費については退職手当を除く

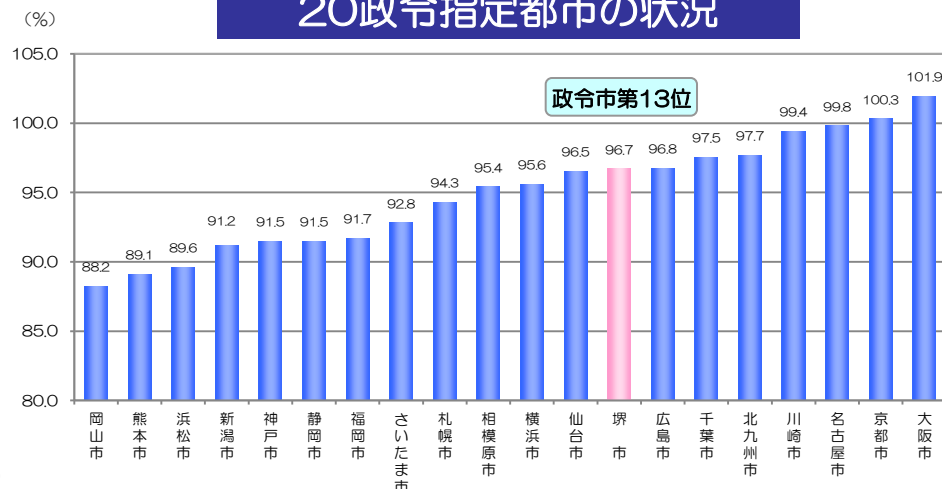
経常収支比率、財政力指数の推移

◆ 経常収支比率は、社会保障関連経費等の増加により1.2ポイント悪化

経常収支比率の推移

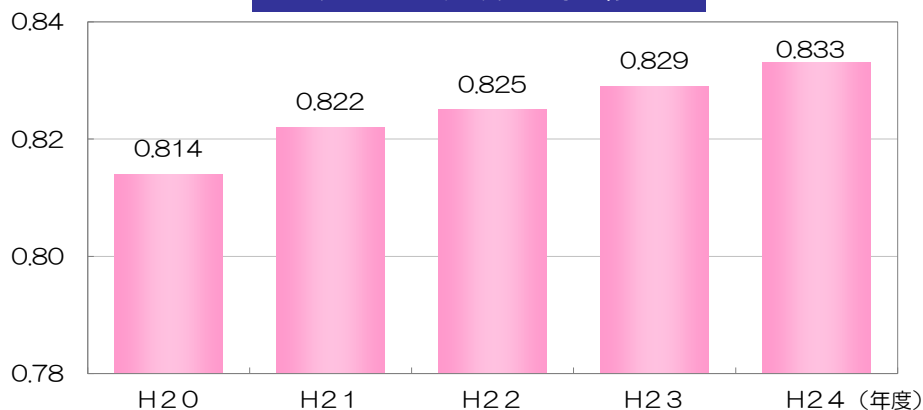


20政令指定都市の状況

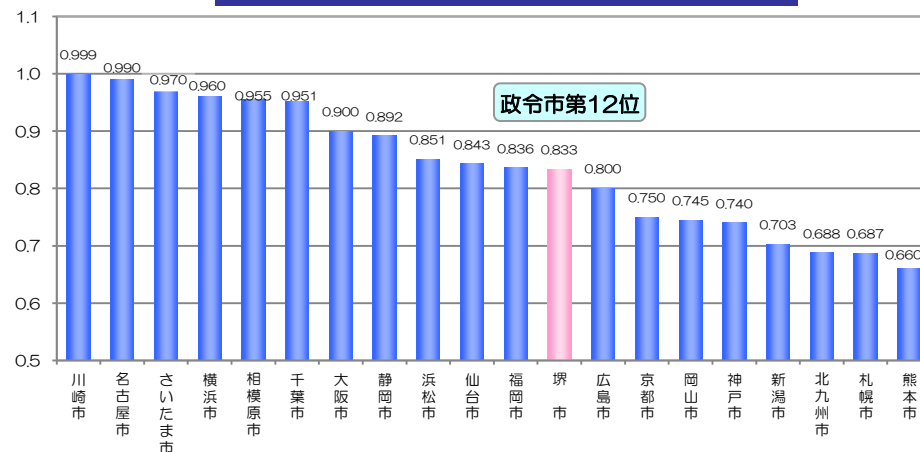


◆ 財政力指数は、毎年度着実に増加

財政力指数の推移



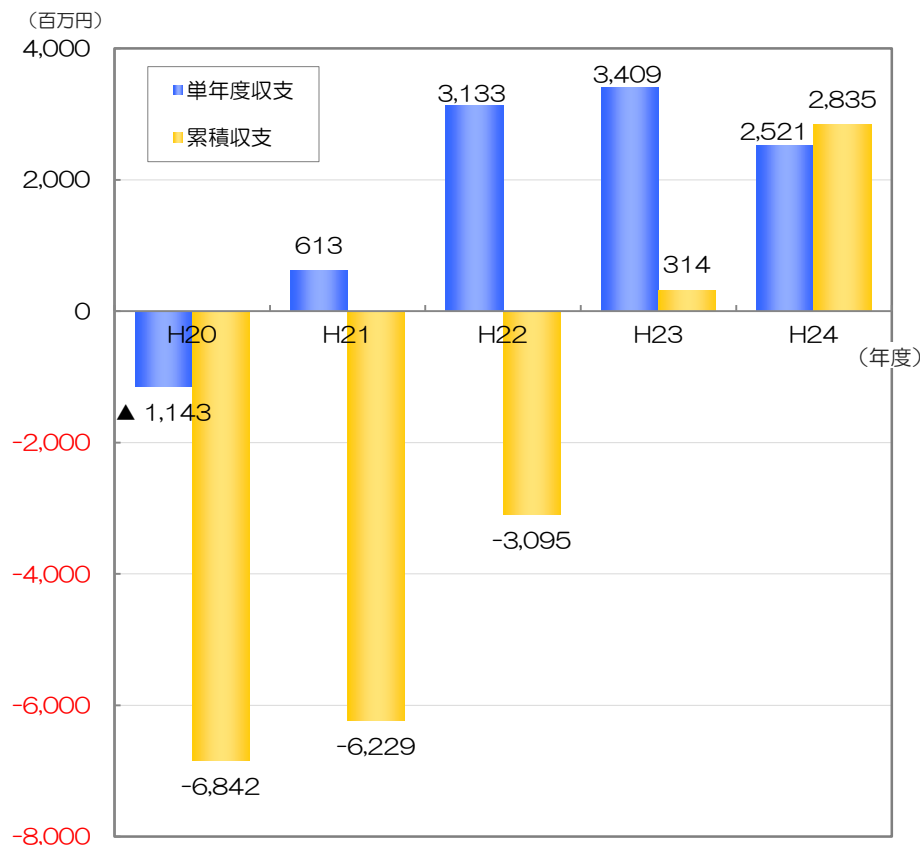
20政令指定都市の状況



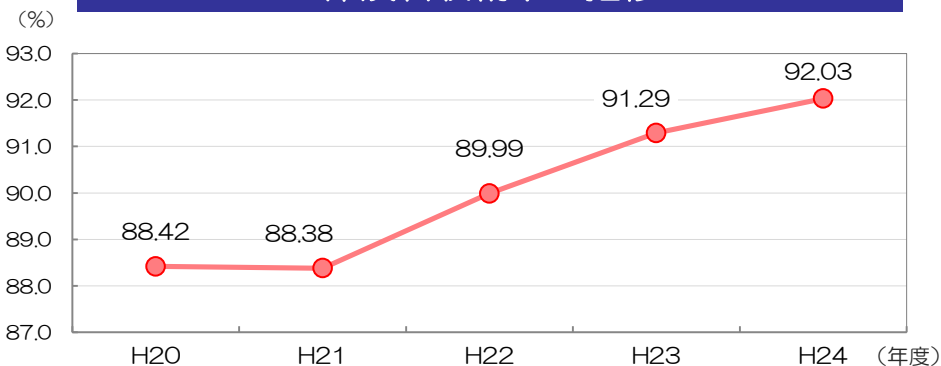
(4) 特別会計の状況 国民健康保険事業特別会計

- ◆ 単年度収支は4年連続黒字、実質収支は2年連続黒字
- ◆ コールセンターの活用、窓口での納付指導など収納対策を強化した結果、収納率は前年度から0.7ポイント改善

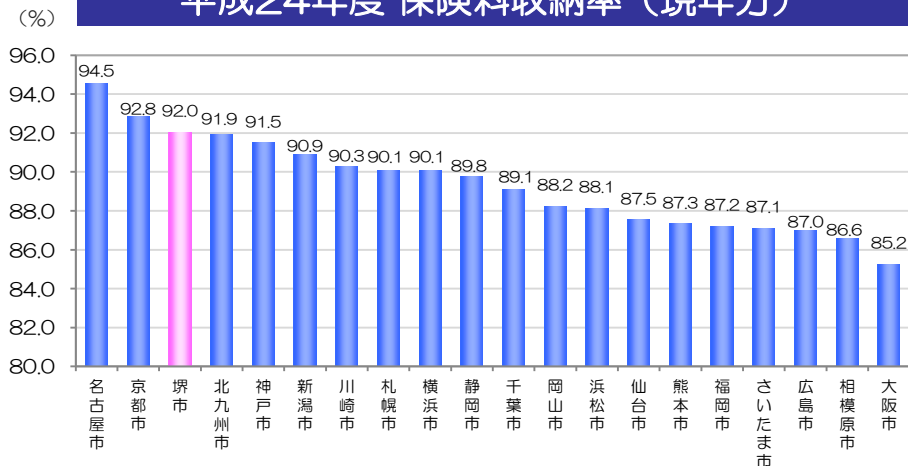
財政収支の推移



保険料収納率の推移



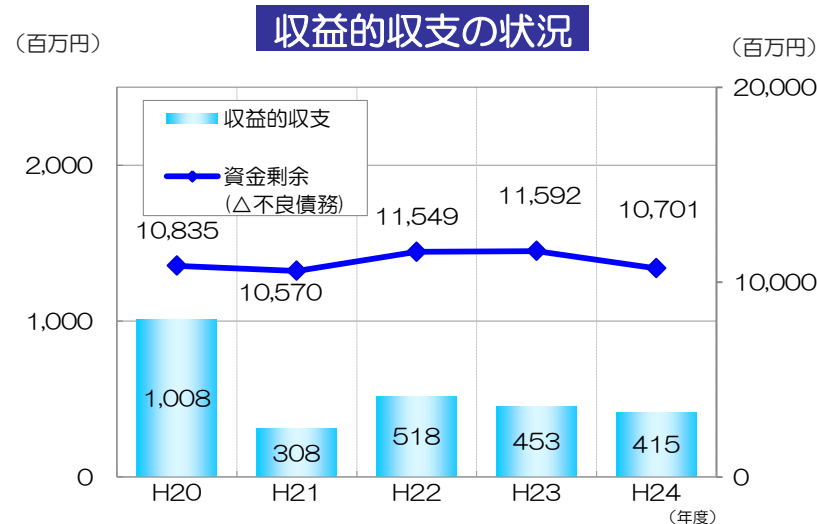
平成24年度 保険料収納率 (現年分)



(5) 公営企業会計の状況

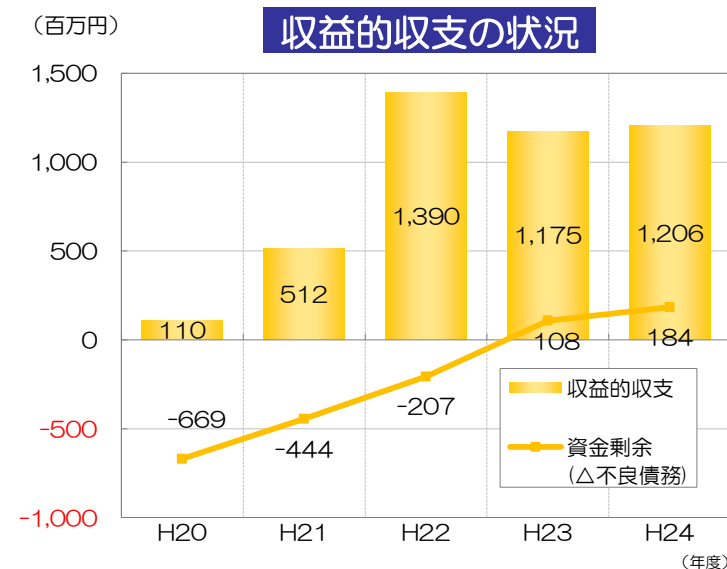
水道事業

- ◆ 他会計繰入金や水道料金の減などにより、事業収益は減少したが、施設維持修繕費の減などにより、純利益4.1億円を計上
- ◆ 引き続き、要員管理の実施による総人件費の削減など、さらなる行財政改革を強力に推進し、安定した経営状況を確保する



下水道事業

- ◆ 下水道使用料の減などにより、事業収益は減少したが、支払利息の減少などにより、純利益12.1億円を計上
- ◆ 「堺市下水道ビジョン(H23年6月策定)」の着実な実施に加え、東日本大震災などを踏まえた災害・減災対策といった新たな課題にも取り組む必要があることから、さらなる経営の健全化を図る



(6) 地方独立行政法人 堺市立病院機構

- ◆平成24年4月1日、非公務員型の地方独立行政法人へ移行し、経営改善と効率化に取り組む
- ◆診療機能の充実による増収と費用の削減で、経常収支が6.8億円の黒字
- ◆純損益も4.1億円の黒字で、経常収支、純損益ともに、平成7年度以来17年ぶりに黒字化

決算収支の状況

(単位 百万円)

	H24 (独立行政法人)	H23 (公営企業)	差引
経常収益 (A)	13,847	12,542	1,305
うち 入院収益	8,665	7,976	689
うち 外来収益	3,101	2,870	231
経常費用 (B)	13,165	13,628	▲463
うち 給与費	6,763	6,465	298
うち 材料費	2,849	2,666	183
うち 経費	2,162	2,551	▲389
うち 減価償却費	560	1,092	▲532
経常収支 (A) - (B)	682	▲1,086	1,768

年度計画と業務実績 (平成24年度)

中期計画 (財務内容の改善)

1. 経常収支の黒字化
(前年度決算 11億円の赤字)
2. 収入の確保と費用の節減

年度計画 (平成24年度)

診療報酬改定への迅速な対応
委託業務など高額費用の節減

報酬改定への対応

病棟薬剤業務実施加算ほか新規に**18件**の施設基準を取得
⇒入院単価が昨年度に比べて大幅に増加

入院単価：56,032円 (昨年度比+4,078円)

委託料の削減

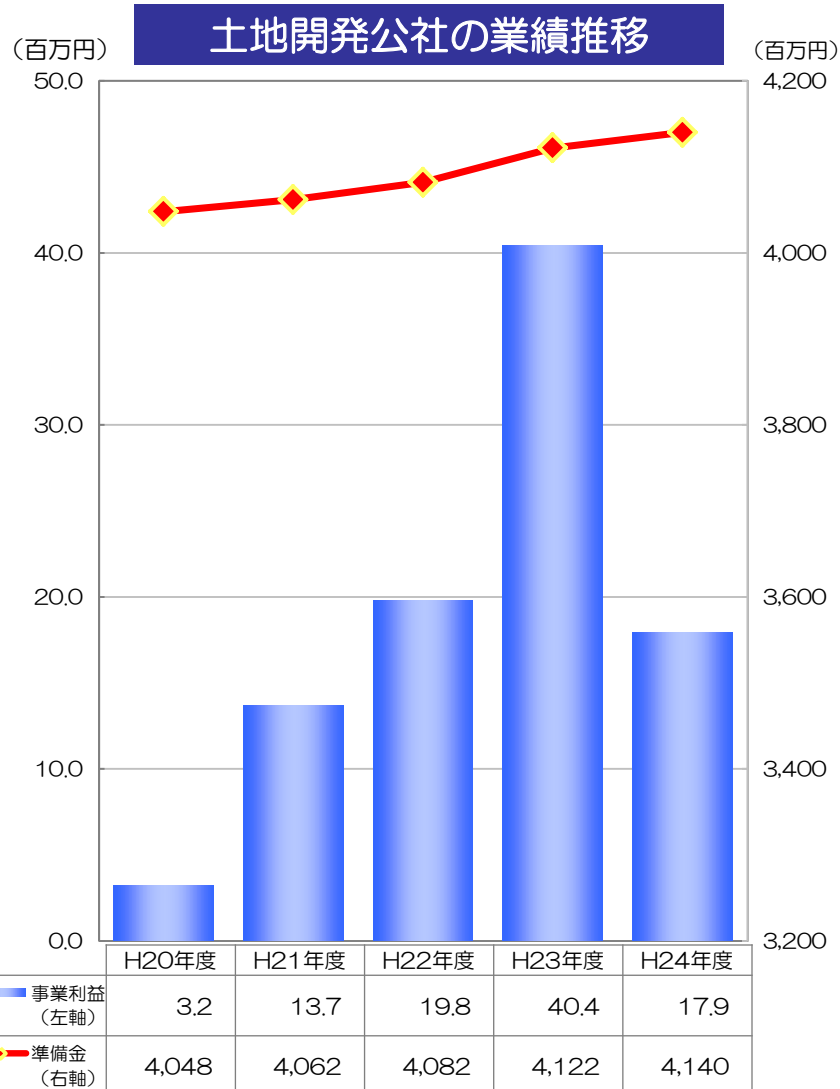
委託業務の仕様などを見直し

- ・設備運転監視・警備業務 **▲1,700万円**
- ・SPD (物品管理) 業務 **▲1,200万円**

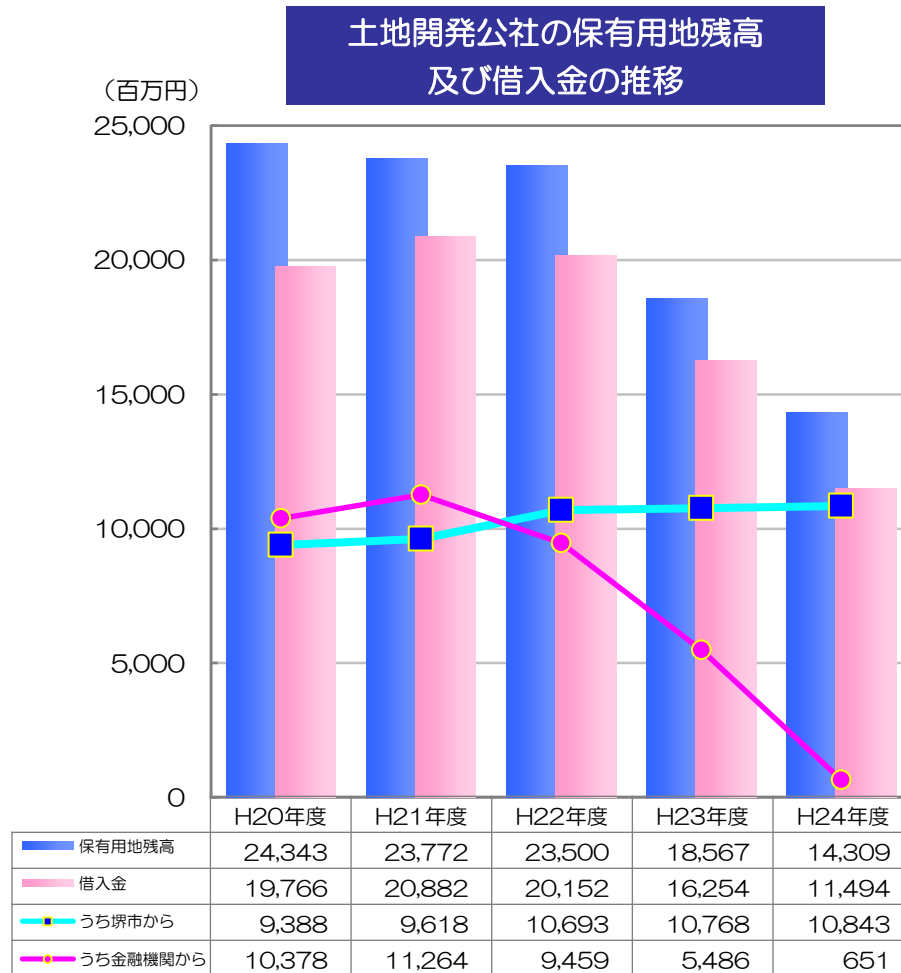
これら取組により **経常収支** は **約6.8億円** の **黒字**

(7) 外郭団体の状況① ～土地開発公社～

◆ 40億円を超える準備金を保有



- ◆ 平成27年度末に解散する予定
- ◆ 保有地残高は、解散に向けて着実に減少
- ◆ 金融機関からの借入金は平成25年4月末に完済

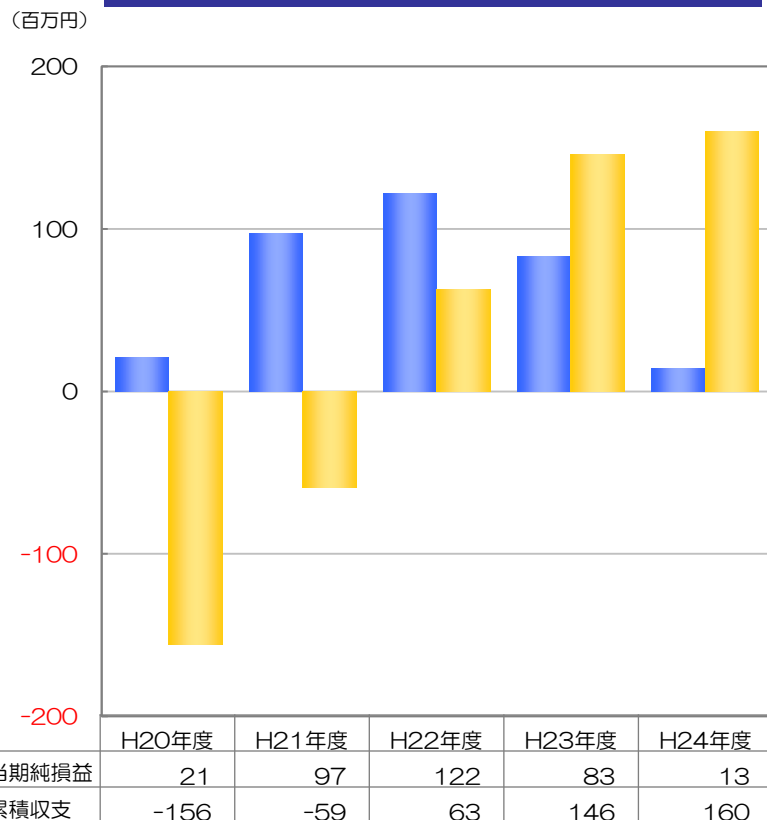


(7) 外郭団体の状況② ～住宅供給公社・その他～

住宅供給公社

- ◆ 5年連続で黒字を確保
- ◆ 平成22年度で債務超過を解消

住宅供給公社の業績推移



その他の外郭団体

- ◆ 「外郭団体の見直し方針」に基づき、平成24年度末までに4団体を解散（平成24年度は(財)堺市都市整備公社を解散）

外郭団体一覧

公益財団法人 堺市文化振興財団	株式会社 さかい新事業創造センター
堺市土地開発公社（H27解散予定）	公益財団法人 堺市産業振興センター
公益財団法人 堺市政策研究所	公益財団法人 堺市勤労者福祉サービスセンター
さかいウェルネス 株式会社	公益社団法人 堺観光コンベンション協会
社会福祉法人 堺市社会福祉協議会	堺市住宅供給公社
公益社団法人 堺市シルバー人材センター	公益財団法人 堺市公園協会
公益財団法人 堺市救急医療事業団	公益財団法人 堺市教育スポーツ振興事業団
社会福祉法人 堺市社会福祉事業団	公益財団法人 堺市学校給食協会
公益財団法人 堺市就労支援協会	

（平成25年9月1日現在）

- ◆ 市の損失補償残高はゼロ

その他の外郭団体の決算（平成24年度）

	当期一般正味財産増減額	当期正味財産増減額
公益法人(12団体)	75 百万円	55 百万円

	当期収支差額	純資産増減額
社会福祉法人(2団体)	109 百万円	70 百万円

	当期利益	繰越利益剰余金
株式会社(2団体)	14 百万円	151 百万円

(8) 市債残高の推移①

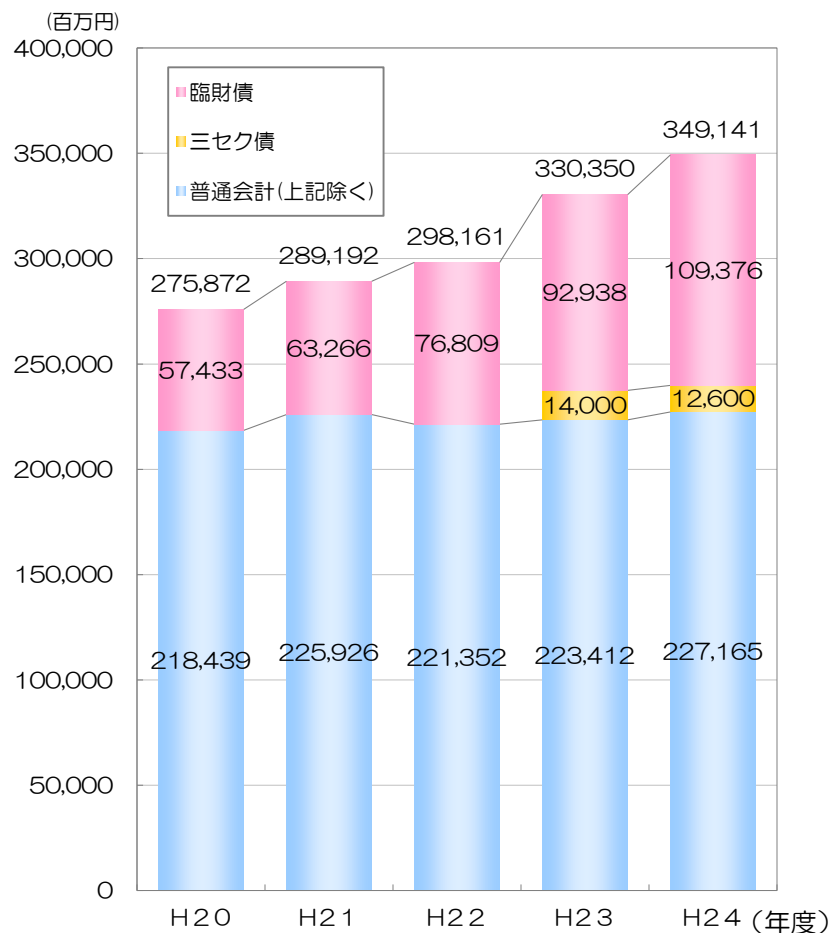
～普通会計～



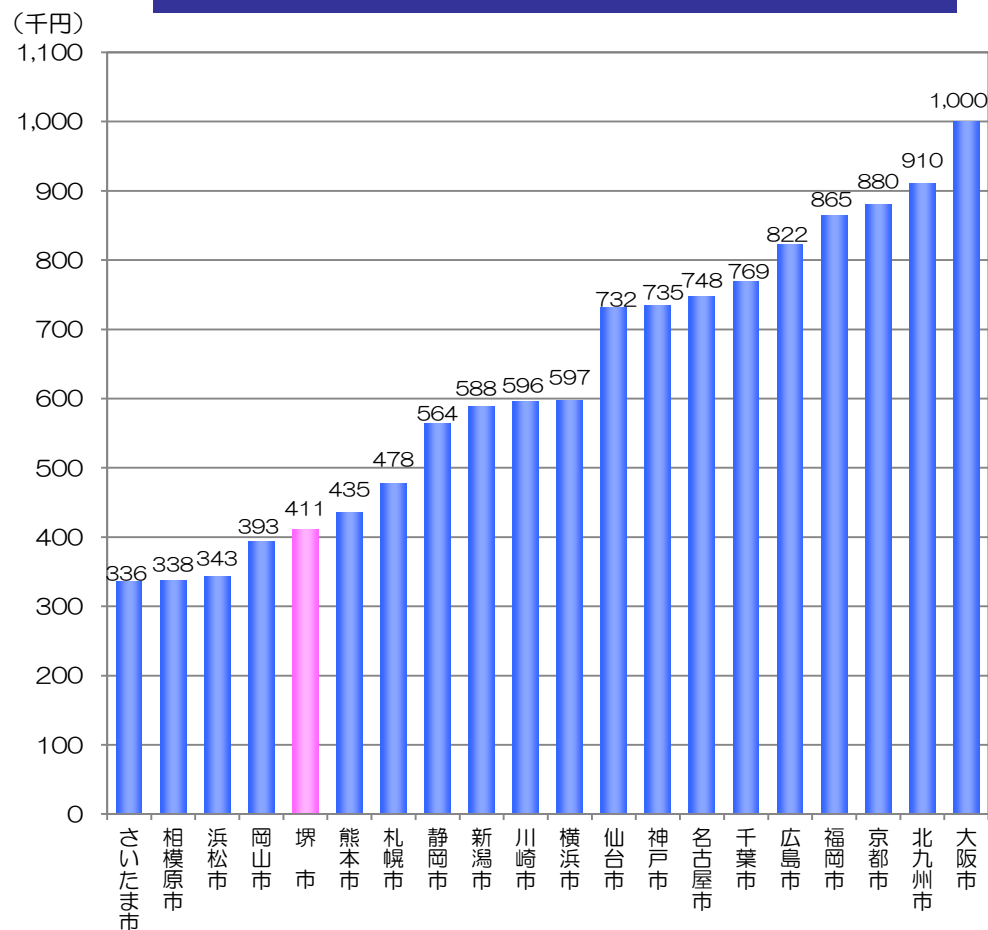
◆ 臨財債、三セク債を除いた市債残高は、2,200億円台を維持

◆ 市民一人当たり市債残高は、20政令市中、5番目に少ない

市債残高の推移（普通会計）

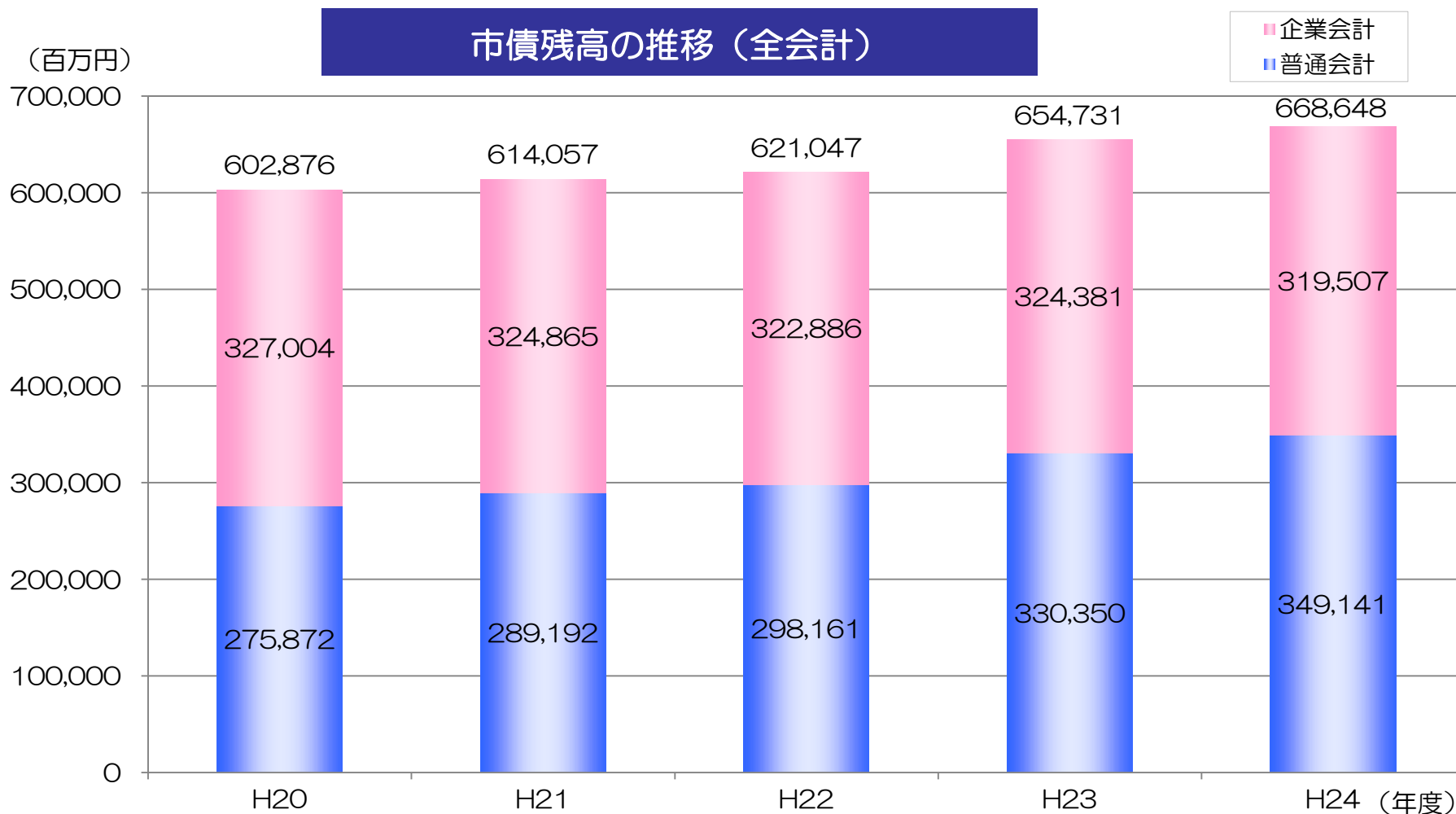


市民一人当たりの市債残高（普通会計）



(8) 市債残高の推移② ～全会計～

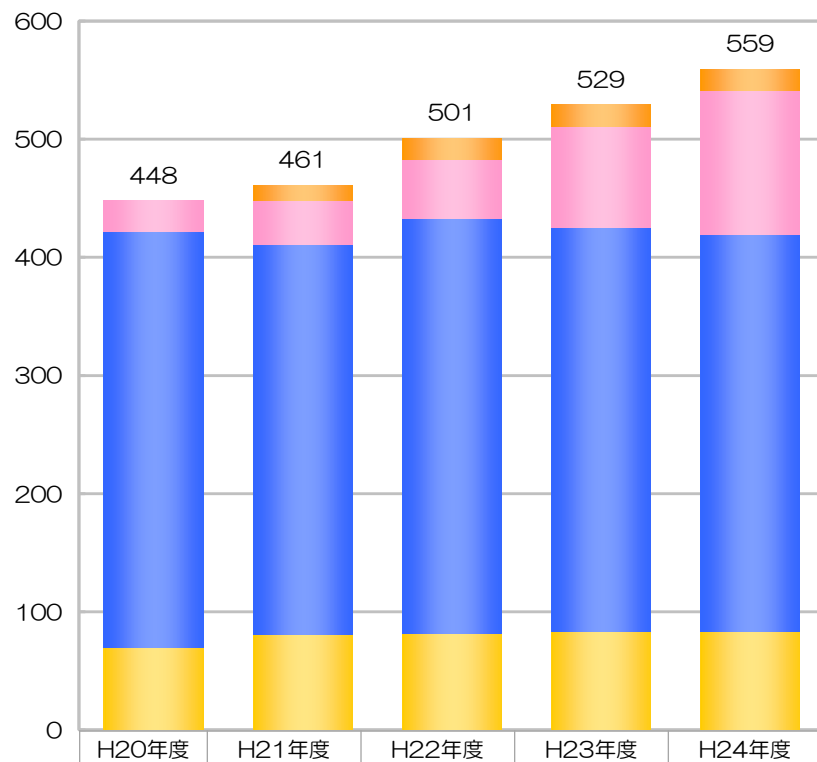
- ◆ 企業会計の市債残高は48.7億円減少したが、臨時財政対策債の発行増などにより普通会計の市債残高が増加したため、全会計では139.2億円の増加となった



(9) 基金の積立状況

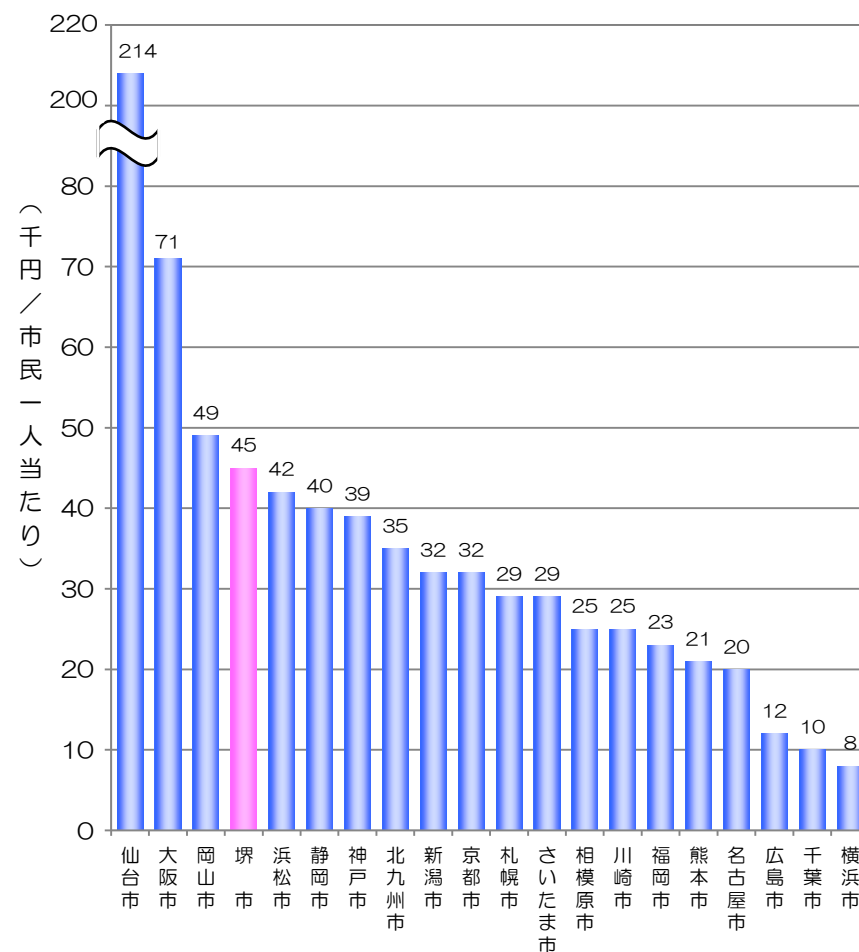
- ◆ 減債基金への任意積立などにより、基金残高は約30億円増加
- ◆ 総務省ルール分の積立は着実に実行

(億円)



	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
財政調整基金	0	13	18	18	18
減債基金	26	37	50	86	122
特定目的基金	352	330	351	342	336
定額運用基金	70	81	82	83	83

- ◆ 市民一人当たり基金残高は20政令市中4位



(10) 財政収支見込（一般会計）

- ◆ 平成23年度から平成32年度までの財政収支見込を試算
- ◆ 行財政改革については「行財政改革プログラム（平成23～25年度）」に沿った見直しを反映
- ◆ 単年度収支は赤字が続くが、基金の活用により実質収支は黒字を確保

財政収支見込（一般会計） 平成23年2月公表

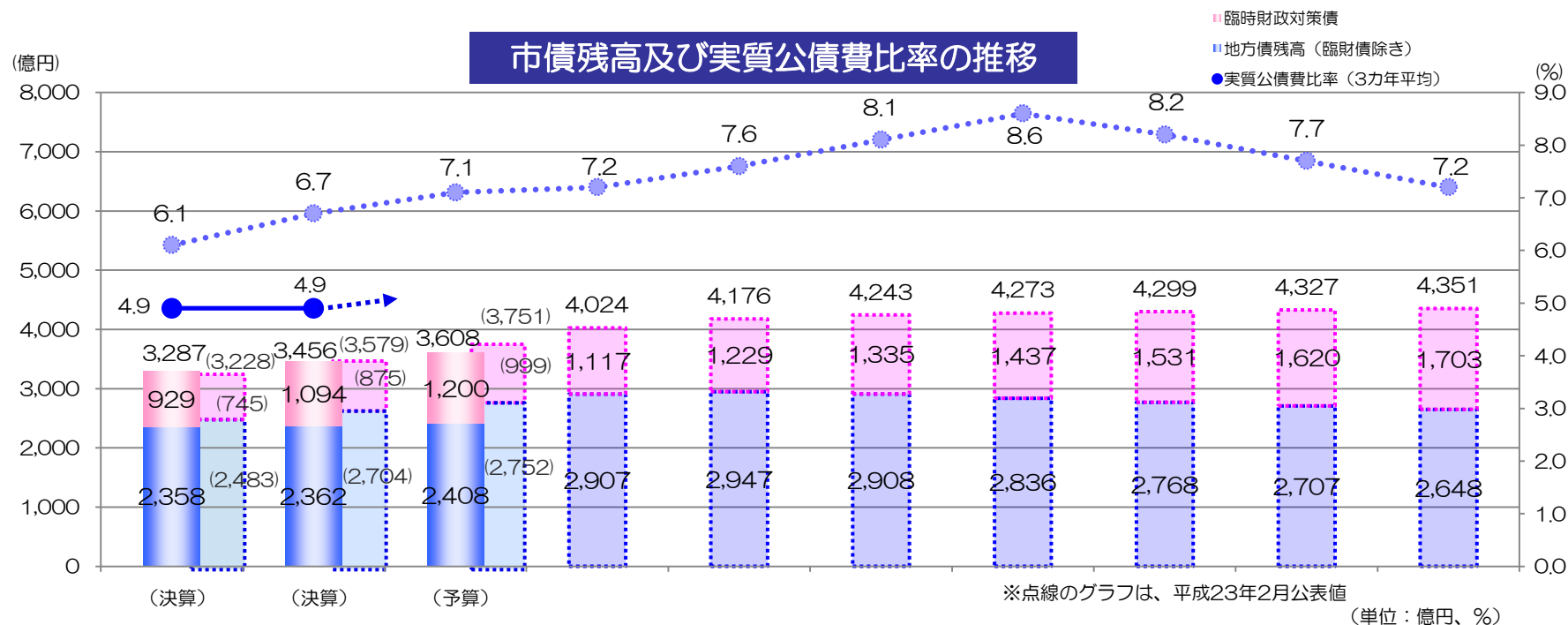
（単位：億円）

	H23決算		H24決算		H25予算		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市税	1,326	(1,303)	1,310	(1,300)	1,296	(1,303)	1,303	1,282	1,285	1,289	1,271	1,281	1,293
地方交付税	219	(217)	273	(214)	217	(217)	212	223	225	223	235	235	218
市債	582	(424)	470	(617)	498	(444)	526	407	336	286	278	285	268
その他	1,419	(1,485)	1,416	(1,490)	1,576	(1,504)	1,549	1,469	1,487	1,498	1,503	1,503	1,524
合計	3,546	(3,429)	3,469	(3,621)	3,587	(3,468)	3,590	3,381	3,333	3,296	3,287	3,304	3,303
人件費	535	(544)	498	(513)	510	(512)	508	517	482	475	470	466	466
扶助費	1,041	(1,039)	1,068	(1,074)	1,107	(1,101)	1,115	1,129	1,144	1,148	1,152	1,157	1,161
公債費	284	(281)	295	(288)	279	(294)	272	275	285	267	260	262	246
普通建設事業費	441	(456)	512	(553)	498	(475)	511	386	353	278	270	275	250
その他	1,216	(1,109)	1,072	(1,241)	1,193	(1,123)	1,194	1,109	1,123	1,140	1,150	1,160	1,171
合計	3,517	(3,429)	3,445	(3,669)	3,587	(3,505)	3,600	3,416	3,387	3,308	3,302	3,320	3,294
単年度収支	29	(0)	24	(▲48)	0	(▲37)	▲10	▲35	▲54	▲12	▲15	▲16	9
基金残高	342	(291)	463	(244)	354	(207)	196	161	108	96	81	65	74

※H23～H25（ ）内の数値は、平成23年2月公表値

市債残高及び実質公債費比率の推移

- ◆ 市債残高（臨時財政対策債除く）は平成27年度にピークを迎え、その後は緩やかに減少
- ◆ 実質公債費比率及び将来負担比率は、現行水準からやや上昇するものの、早期健全化基準よりはるかに低い水準で推移



	H23決算		H24決算		H25予算		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地方債残高	3,287	(3,228)	3,456	(3,579)	3,608	(3,751)	4,024	4,176	4,243	4,273	4,299	4,327	4,351
地方債残高 (臨時債除き)	2,358	(2,483)	2,362	(2,704)	2,408	(2,752)	2,907	2,947	2,908	2,836	2,768	2,707	2,648
実質公債費比率 (3カ年平均)	4.9	(6.1)	4.9	(6.7)	(7.1)		7.2	7.6	8.1	8.6	8.2	7.7	7.2
将来負担比率	52.8	(93.2)	36.9	(107.9)	(111.1)		121.4	124.0	121.4	116.7	112.1	108.1	104.2

※H23～H25 () 内の数値は、平成23年2月公表値



堺の“はもの”は“刃物”だけじゃない・・・！？

工業都市のイメージが強い堺市ですが、実は、大阪府内で農業産出額1位の農業都市でもあるんです。

特に、シュンギク、コマツナ、ネギ、ホウレンソウなどの軟弱野菜の生産がさかんで、シュンギクは、全国でも有数の生産額を誇っています。ご存知でしたか？

堺市では、この軟弱野菜をはじめ、ジャガイモ、タマネギ、トマトなど15品目の堺産農産物を「堺のめぐみ」としてブランド化し、農産物直売所等で販売しています。

また、2011年からは、「堺フードフェスティバル」のイベントの一環として、「堺のめぐみ」を使った料理レシピコンテストを開催するなど地産地消の推進を図っており、地域農業の活性化に努めています。

そう、堺は“刃物”だけでなく、シュンギクなどの“葉物（野菜）”も有名なんですね。

府内シェア1位の農産物

作物名	シェア
しゅんぎく	36.4%
水稻	9.9%
かんしょ	9.7%
大豆	12.9%
こまつな	25.3%
ほうれんそう	18.0%
トマト	14.8%

（出所：平成18年大阪農林水産統計年報）



Ⅳ. 堺市債について



(1) 堺市の格付について … 41

(2) 市債の発行及び起債方針（全会計） … 42

(3) I R活動への取組 … 43

(1) 堺市の格付について

- ◆ 平成20年9月30日、ムーディーズより格付を取得
- ◆ 本市の格付は日本国債と同格付で、BCAは日本の地方公共団体で最高ランク

堺市の格付

A a 3

アウトルック：安定的

A a 3の格付とは

- ・信用力が高く、信用リスクが極めて低いと判断される債務に対する格付です
- ・格付はA a a からCまで21段階あり、A a 3は上から4番目となります

BCA：a1

BCAとは

- ・政府による特別な救済、支援がないとした場合の信用力を判定したものです
- ・BCAは、小文字アルファベットと数字で表され、「a1」は上から5番目となります

評価内容

- ◆ 比較的小さい債務負担と公債費
- ◆ 過去一貫した歳出削減への取組とその実績
- ◆ 地域経済の発展性

他の地方公共団体の格付状況【ムーディーズ】

A a 3 (BCA：a1)

静	岡	県
広	島	市
福	岡	市
札	幌	市
静	岡	市
浜	松	市
福	岡	市

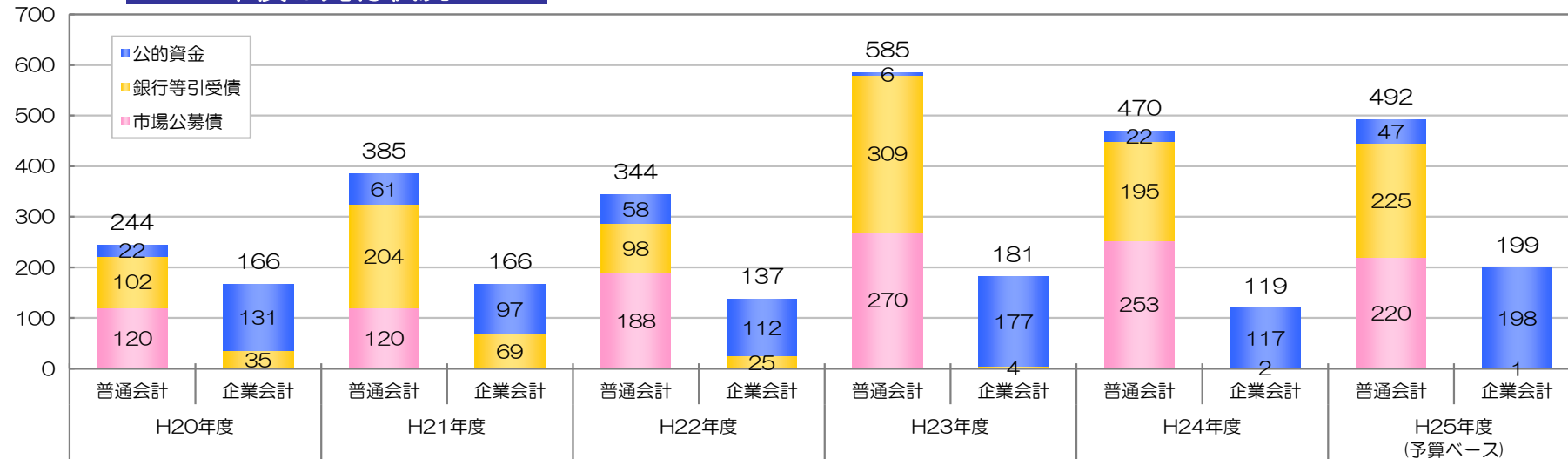
A a 3 (BCA：a2)

新	湊	県
京	都	市
大	阪	市
名	古	屋
	市	

(2) 市債の発行及び起債方針（全会計）

市債の発行状況

(億円)



市場公募債発行予定

(単位：億円)

銘 柄	下 期						出 納 整 理 期 間	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
10年債			100					
20年債		100 程度						
5年債（住民参加型）							20	

起 債 方 針

- ① 全国型市場公募債については、次年度以降も、継続的に発行します
- ② 市場公募債は、マーケット原理に則って条件を決定します
- ③ 満期一括償還する地方債については、総務省ルールのとおり、毎年確実に減債基金へ積立を行います
- ④ 健全化判断比率の健全度を継続的に確保するよう、起債管理を行います

(3) IR活動への取組

- ◆ 堺市では、全庁をあげての組織的対応により、信頼性の高い情報をわかりやすく発信していきます
- ◆ 本市ホームページのトップに「IR情報」のメニューを配置しています

堺市ホームページ トップ画面
<http://www.city.sakai.lg.jp/>

堺市 IR情報 トップ画面
<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/zaisei/irinfo/>



IR情報

をクリック

こちらより予算や決算など堺市の財政状況をご覧いただけます。

堺市は、皆様のご意見を反映した I R活動をめざしています

より詳しくお知りになりたい情報や、個別訪問等のご要望がありましたら
下記担当窓口までご連絡ください。

お問い合わせ先 : 堺市 財政局 財政部 資金課

電 話 : 072-228-7191

F A X : 072-228-7856

E-mail : shikin@city.sakai.lg.jp

U R L : <http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/zaisei/>



本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。

本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。

本資料内のデータは、信頼できるとされる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。